



ユーザーズガイド

by 国際航業株式会社

目次

1 基本操作	4
1-1. MarketFinder のログイン/ログアウト	4
1-1-1. ログインするには...	4
1-1-1-1. ActiveX 版の場合	4
1-1-1-2. ClickOnce 版の場合	6
1-1-2. ログアウトするには...	9
1-1-2-1. ActiveX 版の場合	9
1-1-2-2. ClickOnce 版の場合	9
1-2. 地図画面の操作	10
1-2-1. 機能レイヤ(階層構造)を表示するには...	10
1-2-2. 地図を表示するには...	10
1-2-3. 地図を拡大・縮小するには...	10
1-2-4. 地図を移動するには...	11
1-2-5. 地図レイヤを選択するには...	12
1-2-6. 様々なレイヤを選択するには...	12
1-3. 店舗位置を落とす	15
1-3-1. 店舗を表示するには...	15
1-3-2. マウスクリックでオリジナルの店舗(新店等)を落とすには...	16
1-3-3. 店名を表示するには...	19
1-3-4. 店舗データに属性(店番・店名の入力)を設定するには...	19
1-3-5. エクセルデータ(住所データ・店名・売上金額)を取り込む(インポート)には...	20
エクセルデータと MarketFinder の住所を適合	
1-3-6. 店舗データを出力(エクスポート)するには...	23
1-3-7. 店舗データを削除するには...	24
1-4. 距離円を描く	25
1-4-1. 店舗データに距離円を描くには...(単店・複数店)	25
1-4-2. 任意の距離円を描くには...	27
1-4-3. 距離円を削除するには...	31
1-5. 計測(距離・面積を測る)	32
1-5-1. 距離を計測するには...	32
1-5-2. 面積を計測するには...	32
1-6. 作図を行なう	33
1-6-1. 作図パネルを操作するには...	33
1-6-2. 機能ボタンを操作するには...	33
1-6-3. 図形グループ欄を操作するには...	34
1-6-4. 図形オブジェクト欄を操作するには...	34

2 基本機能	36
2-1.統計データ（国勢調査/企業統計データ）	36
2-1-1.統計データを表示するには・・・	36
ケース 世帯数の多い地区、少ない地区を5段階の色を使って表記する（丁目単位）	36
ケース 複数の指標を計算して5段階の色を使って表記する（丁目単位）	39
ケース ランクと指標の条件を組み合わせで表記する（丁目単位）	41
2-1-2.距離円内面積按分データを抽出し、エクセル出力するには・・・	43
ケース 抽出対象1店舗（単店）の距離円内から面積按分データを抽出する場合	43
ケース 抽出対象複数店舗の距離円内から面積按分データを抽出する場合	46
2-2.顧客データ	49
2-2-1.マウスクリックで来店客分布状況を落とすには・・・	49
2-2-2.保存した顧客データを取り込む（インポート）には・・・	52
2-2-3.来店客分布状況を集計したデータを保存するには・・・	55
2-2-4.来店客の世帯シェアを集計するには・・・	56
3.その他	59
3-1.エクセルレポート	59
3-1-1.xls形式でレポート出力するには・・・	59
3-2.印刷	60
3-2-1.印刷するには・・・	60
3-2-2.地図の描画手順を保存（メタファイル出力）するには・・・	64
3-2-3.画像ファイルで保存（ビットマップ出力）するには・・・	65
用語解説	66

1. 基本操作

1-1. MarketFinder のログイン/ログアウト

1-1-1. ログインするには・・・

1-1-1-1. ActiveX 版の場合

EarthFinder ホームページ

<http://www.earthfinder.net/>を開き、
MarketFinder@sp をクリックします。

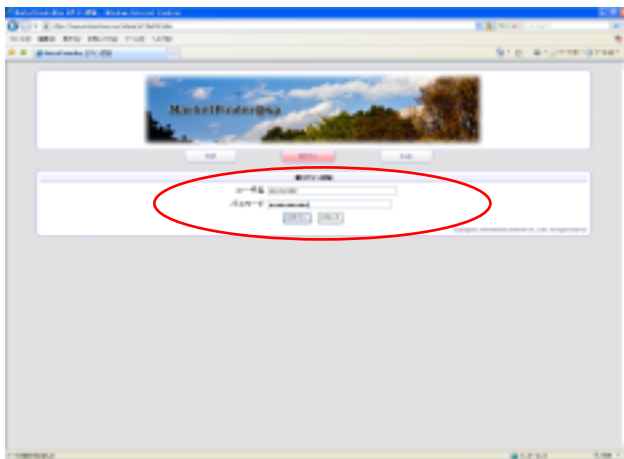


MarketFinder ホームページ

<https://www.oriokomitown.com/mfasp/index.jsp>を開き、【ログイン】を選択します。

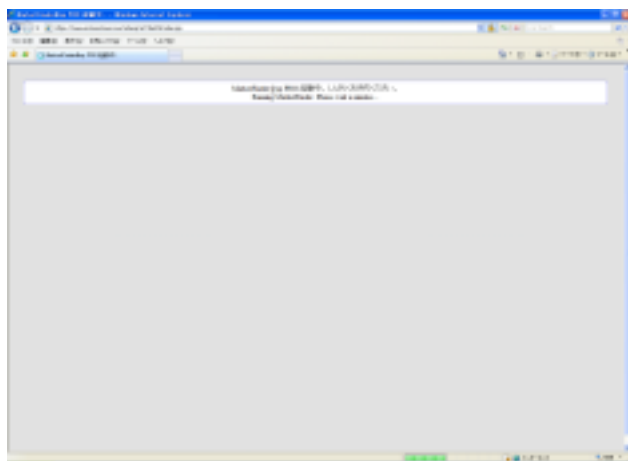


MarketFinder のログイン認証ページを開き、ユーザー名とパスワードを入力し、【ログイン】をクリックします。



左側の画面が表示されたら、
【MarketFinder を起動する】をクリックします。



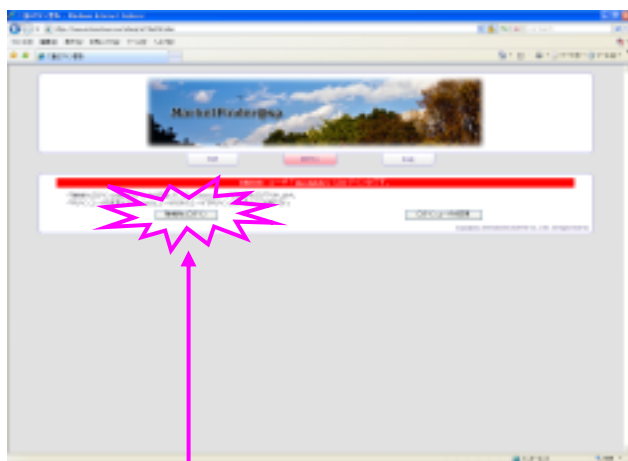


しばらくすると左側の画面が表示されます。



正常に起動すると、左側の画面が表示されます。

以上で起動完了です。



要注意

安易に【強制的にログイン】をクリックしないで下さい。
すでにログインして利用しているユーザーのデータが消えてしまいます！

ひとつのログインユーザーで二重でログインしているときに以下の警告画面が表示されます。

このような場合は【強制的にログイン】をクリックしてしまいますと、すでに利用しているユーザーの作成していたデータはすべて消されてしまいます。

どうしてもログインしたい場合は、すでにログインして利用しているユーザーに確認する必要があります。

ログイン可能な状態であれば【強制的にログイン】をクリックしてログインします。

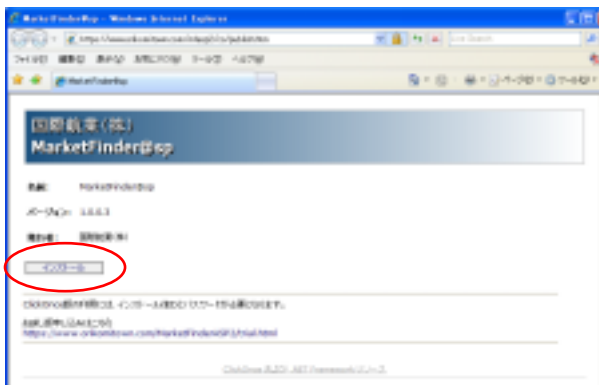
1-1-1-2. ClickOnce 版の場合

EarthFinder ホームページ

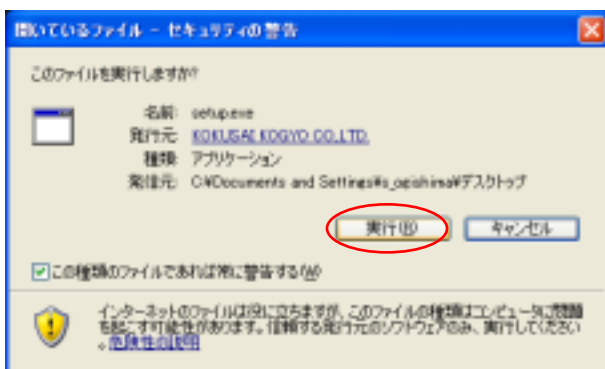
<http://www.earthfinder.net/>を開き、
MarketFinder@sp をクリックします。



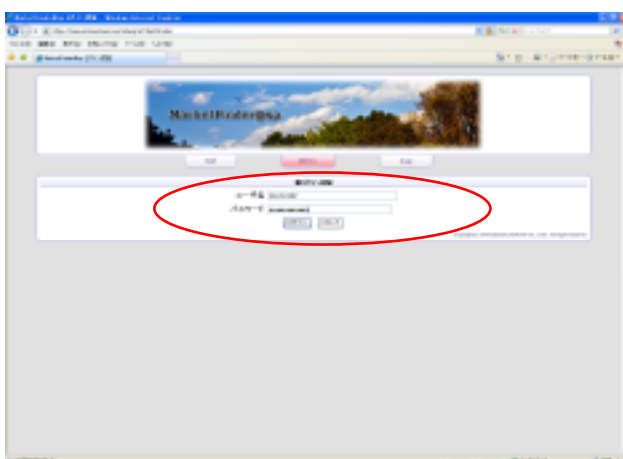
左側のインストール画面が開きます。
【インストール】をクリックします。

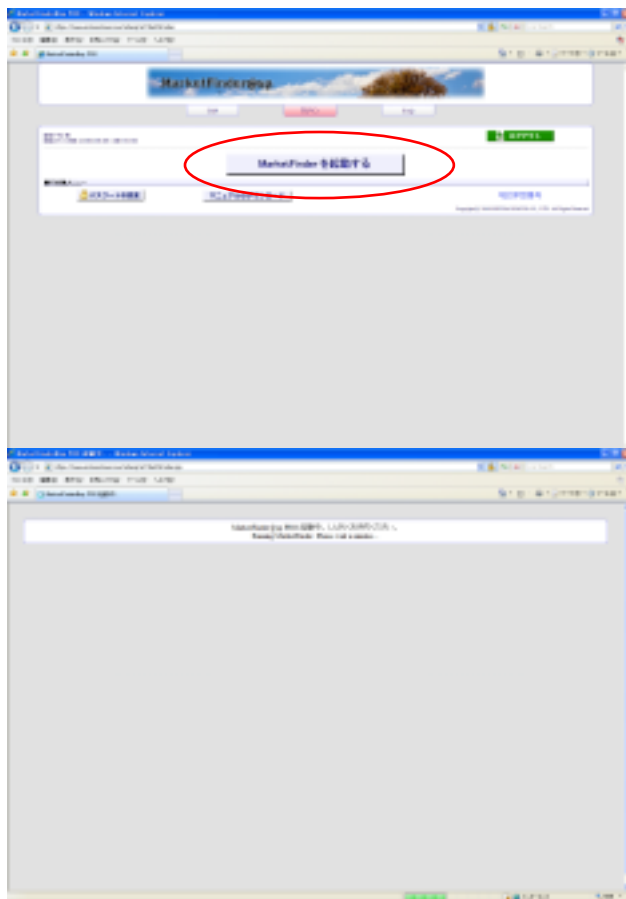


左側の画面が表示されましたら、【実行】
をクリックします。



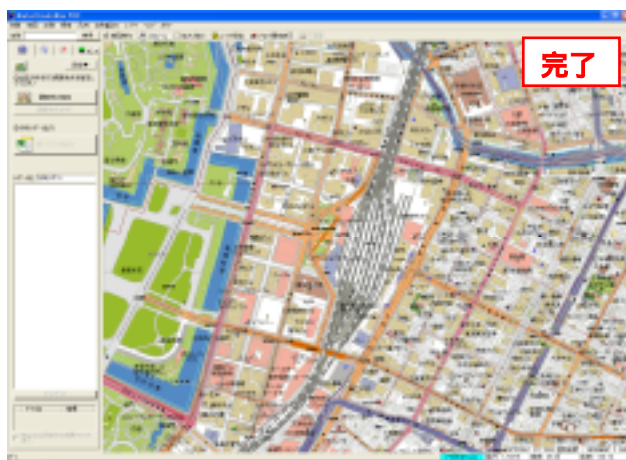
MarketFinder のログイン認証ページを
開き、ユーザー名とパスワードを入力し、
【ログイン】をクリックします。





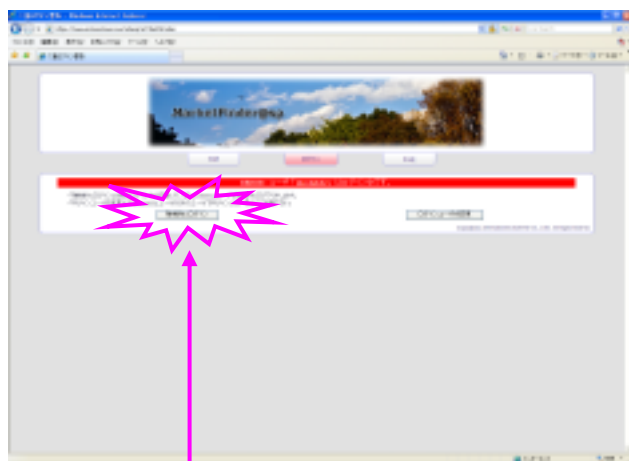
左側の画面が表示されたら、
【MarketFinder を起動する】をクリック
します。

しばらくすると左側の画面が表示され
ます。



正常に起動すると、左側の画面が表示
されます。

以上で起動完了です。



要注意

安易に【強制的にログイン】をクリックしないで下さい。
すでにログインして利用しているユーザーのデータが消えてしまいます！

ひとつのログインユーザーで二重でログインしているときに以下の警告画面が表示されます。

このような場合は【強制的にログイン】をクリックしてしまいますと、すでに利用しているユーザーの作成していた配布データはすべて消されてしまいます。


どうしてもログインしたい場合は、すでにログインして利用しているユーザーに確認する必要があります。

ログイン可能な状態であれば【強制的にログイン】をクリックしてログインします。

1-1-2. ログアウトするには・・・



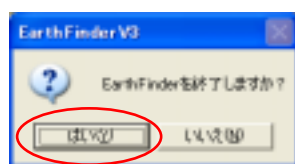
1-1-2-1. ActiveX 版の場合

 【閉じる】をクリックすると終了します。



1-1-2-2. ClickOnce 版の場合

ツールバーの【終了】ボタンをクリックします。



左側の画面が表示されましたら、【はい】をクリックします。

自動的に画面が消えます。

以上でアプリケーションを終了します。

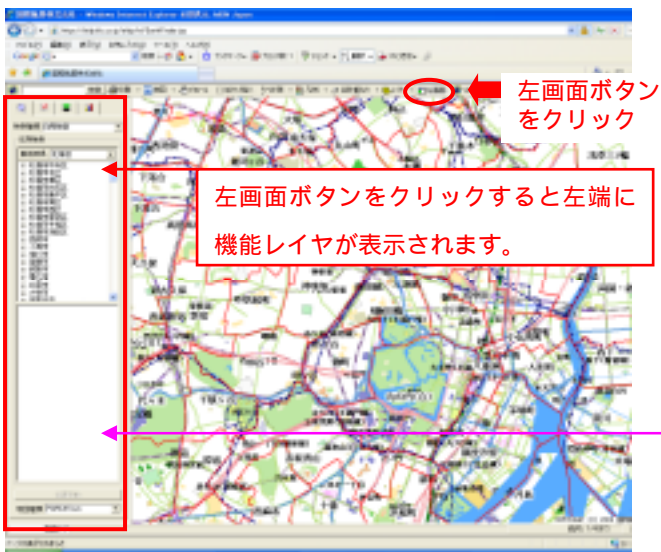


アプリケーションを起動し、長時間利用しない状態になると、左側の画面が表示されます。この場合はバックボタンを2度押してから再度リンクを押すか、ブラウザを立ち上げ直してください。

▶ 地図画面の操作.....	1-2	P. 10
▶ 店舗を落とす.....	1-3	P. 15
▶ 距離円を描く.....	1-4	P. 25
▶ 計測.....	1-5	P. 32
▶ 作図を行なう.....	1-6	P. 33
▶ 統計データ.....	2-1	P. 36
▶ 顧客データ.....	2-2	P. 49
▶ エクセルレポート.....	3-1	P. 59
▶ 印刷.....	3-2	P. 60

1-2.地図画面の操作

1-2-1.機能レイヤ（階層構造）を表示するには・・・



ツールバーの左画面のボタンをクリックします。

機能レイヤ（階層構造）

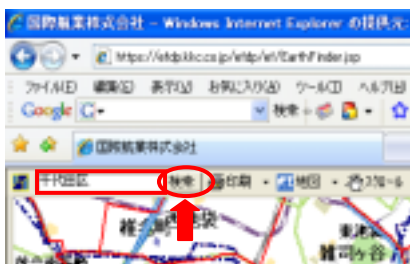
住所や販売店を検索して地図を表示します。

店舗のプロットやエリアグループを表示できます。またそれぞれに属性を付加させることもできます。

統計データやプロットの集計を行なうことができます。

1-2-2.地図を表示するには・・・

住所や販売店を検索することで、調べたい地域の地図を表示させることができます。



ツールバーの検索欄に住所を入力し、【検索】をクリックします。



表示させたい住所を選択し、【OK】をクリックします。

ヒットする住所は名前順で最初の 100 件のみ表示されます。

【最初の 100 件のみ表示しています】と表示され、目的の場所の選択項目が出ない場合はさらに細かく住所を入力して下さい。

1-2-3.地図を拡大・縮小するには・・・



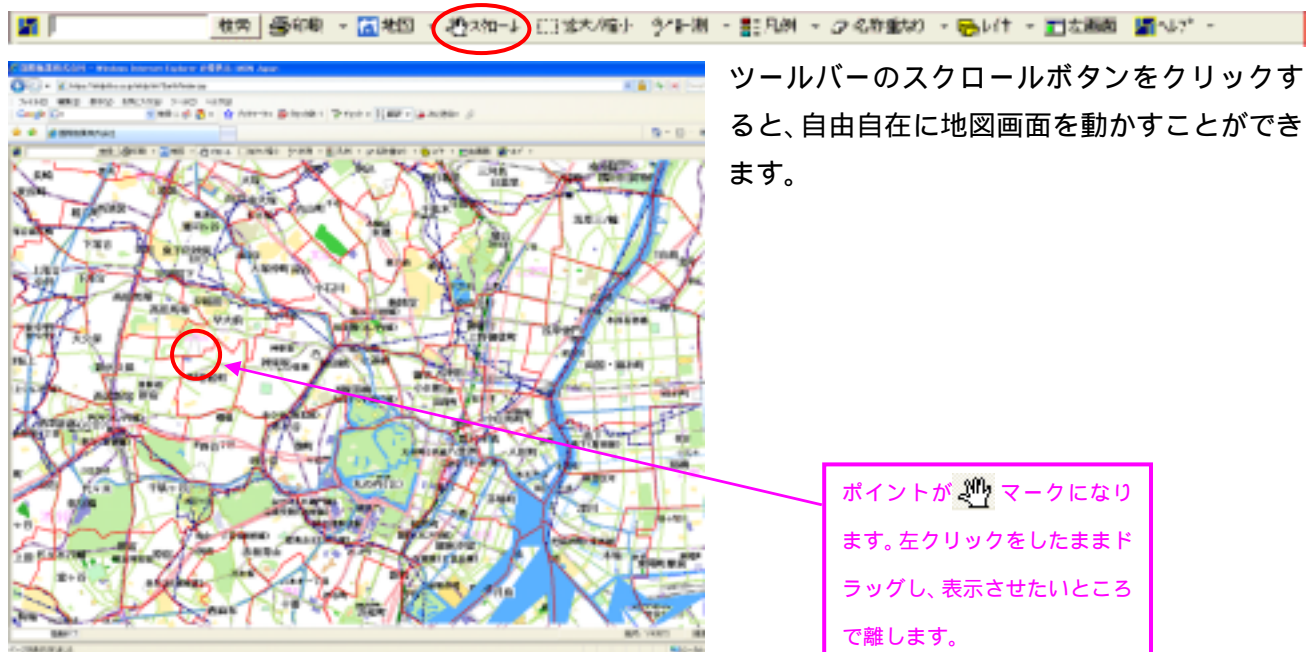
ツールバーの【拡大/縮小】をクリックします。

拡大：地図の表示されている画面上で左ボタンをドラッグして四角形を描くと地図を拡大します。

縮小：地図の表示されている画面上で右ボタンをドラッグして四角形を描く地図を縮小します。

1-2-4. 地図を移動するには・・・

A．スクロールによる地図の移動



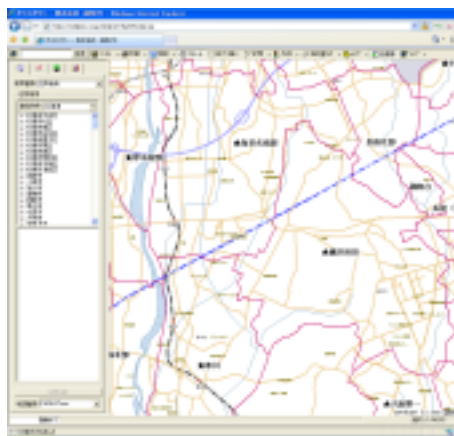
B．地図操作バーによる地図の移動

ツールバーの【地図】 【地図操作】をクリックすると、地図操作バーが表示されます。



画面が小さくて表示内容が見にくいときは・・・

画面が小さくて表示内容が見にくいときは【F11】キーを押すと画面表示を最大化できます。また通常画面表示に戻る場合は【F11】キーをもう一度押します。



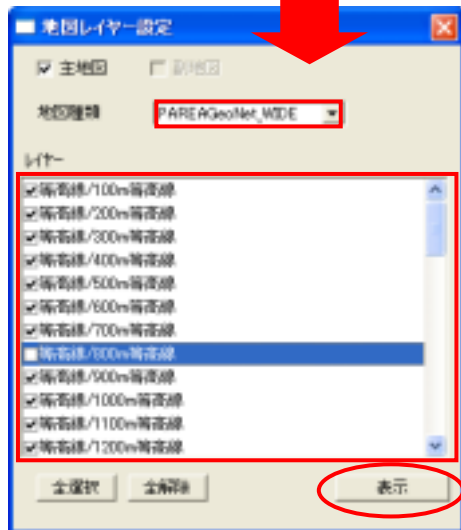
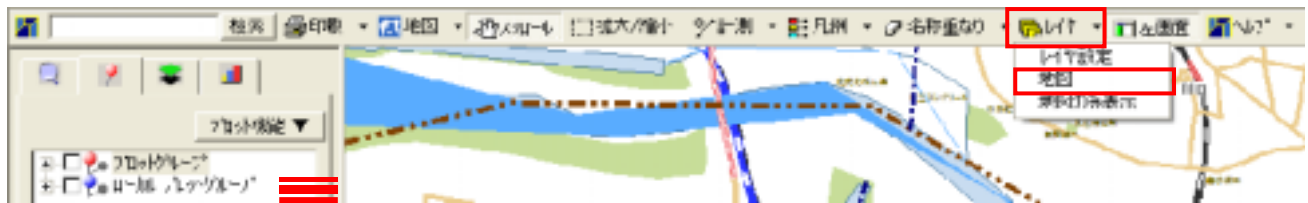
通常画面表示



画面表示を最大化にしたとき

1-2-5. 地図レイヤを選択するには・・・

ツールバーより【レイヤ】 【地図】をクリックします。

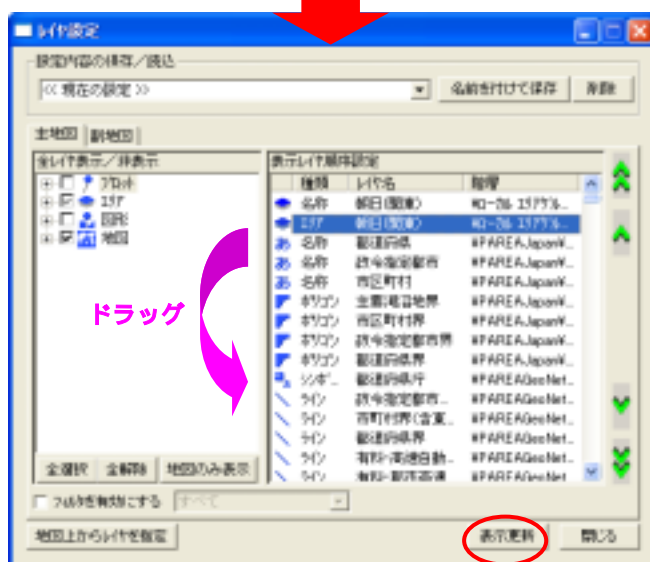
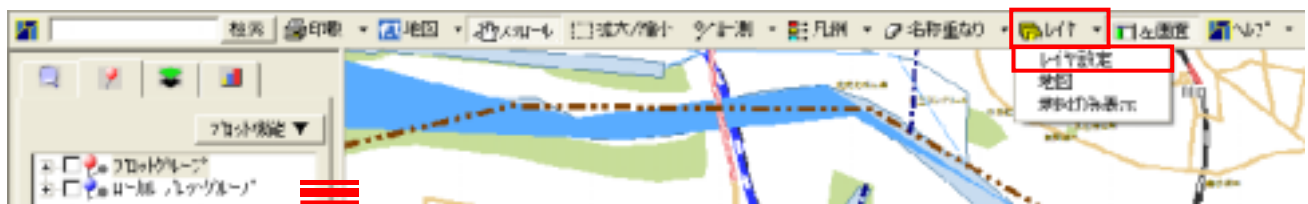


【地図レイヤー設定】画面が表示されます。表示させたい【地図種類】を選択し、レイヤ項目を選択して、【表示】をクリックします。

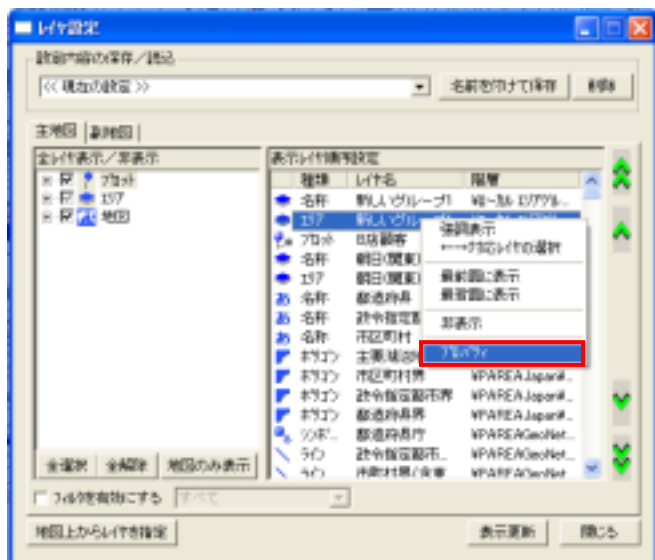
1-2-6. 様々なレイヤを選択するには・・・

全レイヤ（プロット/エリア/図形/地図）の表示/非表示や、表示レイヤの重ね順序を設定することができます。

ツールバーより【レイヤ】 【レイヤ設定】をクリックします。

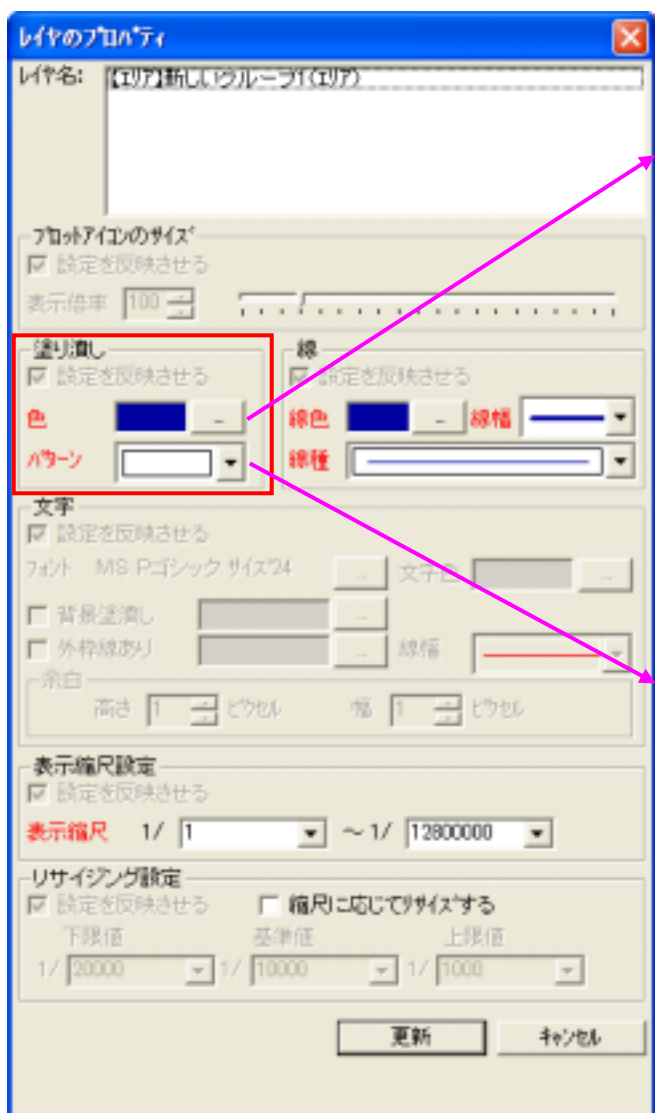


【レイヤ設定】画面が表示されます。表示したいレイヤ項目を選択し、【表示レイヤ順序設定】項目で、種類名をドラッグして、表示レイヤ順序を設定し、【表示更新】をクリックします。



表示レイヤの色・ハッチパターン・線色・線幅・線種を設定する場合

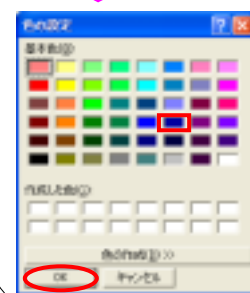
変更したいレイヤの種類を右クリックし、【プロパティ】をクリックします。



【レイヤのプロパティ】画面が表示されます。

色の変更

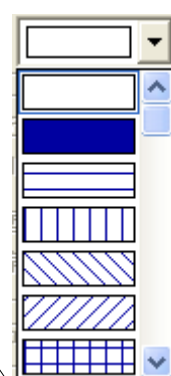
色 クリックします



色を選択して【OK】をクリックします。

ハッチパターンの変更

パターン クリックします



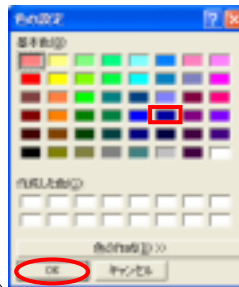
パターンを選択します。



線色の変更

線色

クリックします

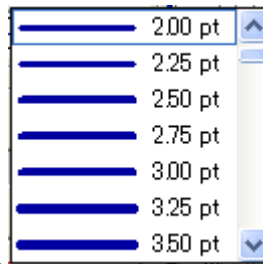


色を選択して【OK】をクリックします。

線幅の変更

線幅

クリックします

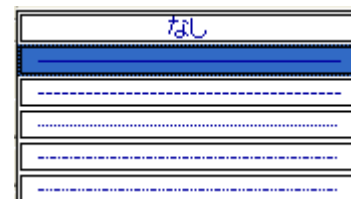


線幅を選択します。

線種の変更

線種

クリックします



線種を選択します。


表示レイヤの色・ハッチパターン・線色・線幅・線種の設定ができましたら、【更新】をクリックします。

▶ 店舗を落とす	1-3	P. 15
▶ 距離円を描く	1-4	P. 25
▶ 計測	1-5	P. 32
▶ 作図を行なう	2-1	P. 33
▶ 統計データ	2-2	P. 36
▶ 顧客データ	2-3	P. 49
▶ エクセルレポート	3-1	P. 59
▶ 印刷	3-2	P. 60

1-3.店舗位置を落とす

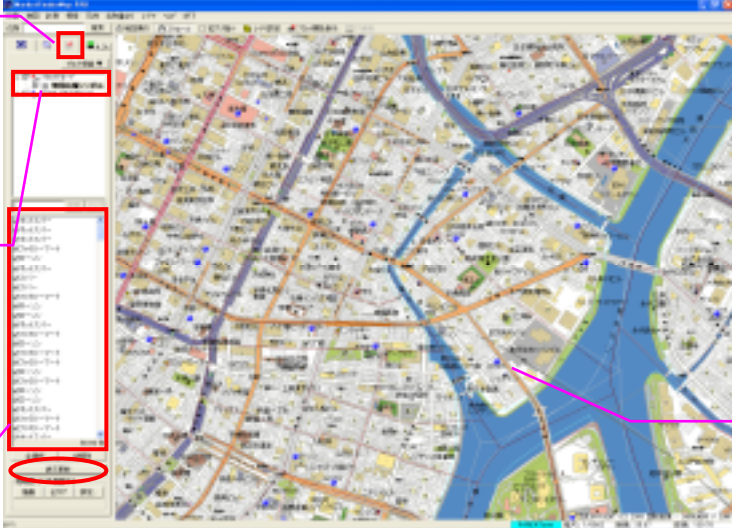
1-3-1. 店舗を表示するには・・・

本アプリケーションに登録されている地図上に店舗を落とすことができます。

左端に機能レイヤが表示されます。プロットアイコン  をクリックします。

【プロットグループ】 【地図店舗シンボル】をクリックします。

表示させたい店舗を選択し、【表示更新】をクリックします。



地図上画面に選択した店舗が表示されます。

また店舗名称及び店舗コードを地図上に表示することができます。



【地図店舗シンボル】の隣のアイコン  をクリックします。

【地図店舗シンボル】の隣のアイコンが  に変わります。

 : 名称非表示

 : 名称表示

【表示更新】をクリックします。

地図上画面に選択した店舗のところに名称が表示されます。

1-3-2. マウスクリックでオリジナルの店舗（新店等）を落とすには・・・



【ローカルプロットグループ】 【新規グループの作成】をクリックします。

【新規作成】の画面が表示されたら、グループ名を入力します。
アイコン登録をクリックします。

【プロットアイコン選択】の画面が表示されたらアイコンを選択し、【選択】をクリックします。

オリジナルのプロットアイコンを使う場合は、【ローカルファイル】をクリックし、bmp 形式のファイルを設定することができます。

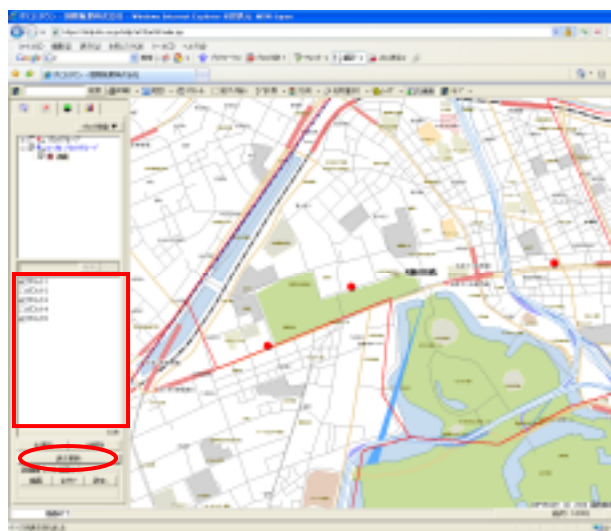
【登録】をクリックします。

アイコンの大きさを変更する場合は、【サイズ】項目のカーソルを動かして調整します。

グループ名を右クリックし、【プロット追加】を選択します。

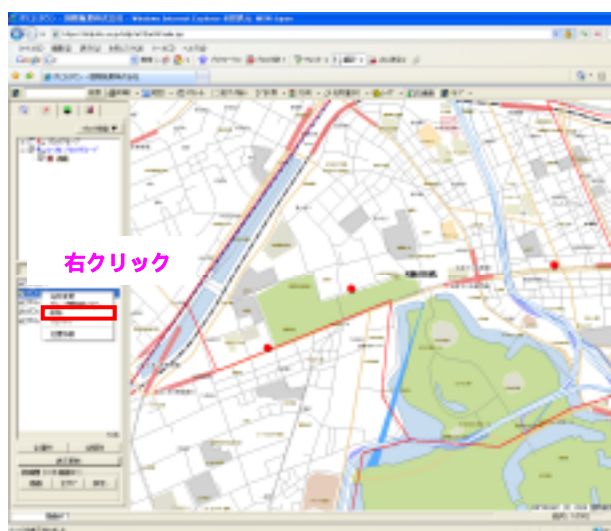


地図上でプロットさせたい箇所をクリックするとアイコンが表示され、店舗が落とされます。



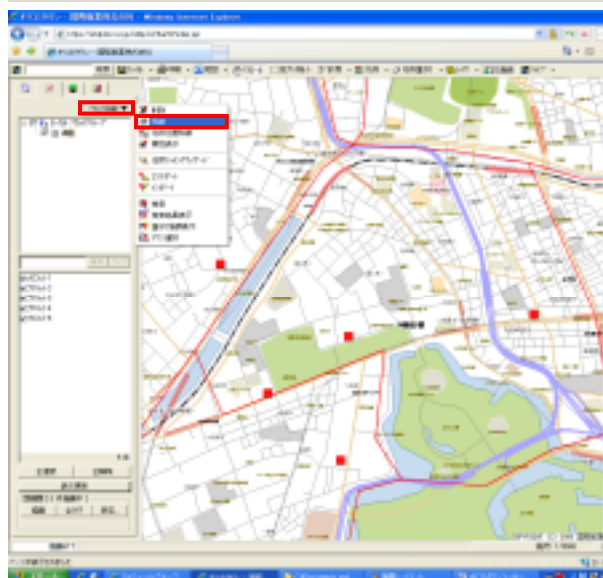
落とした店舗を非表示にする場合

非表示にしたいプロットのチェックを外し、【表示更新】をクリックします。



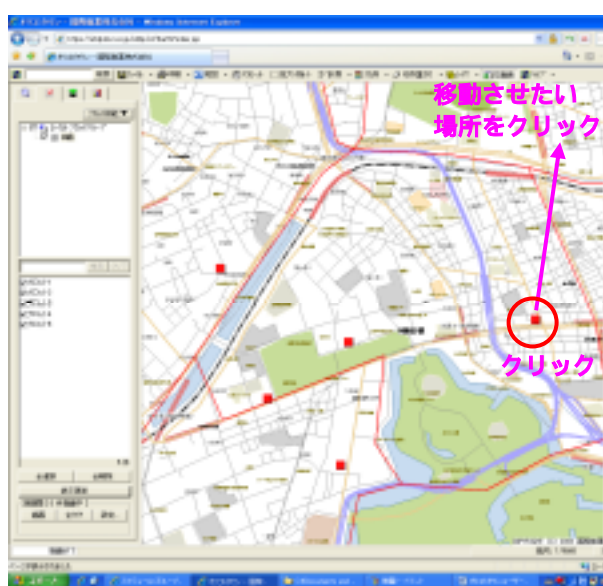
落とした店舗を削除する場合

削除したいプロット名上で右クリックし、【削除】をクリックします。



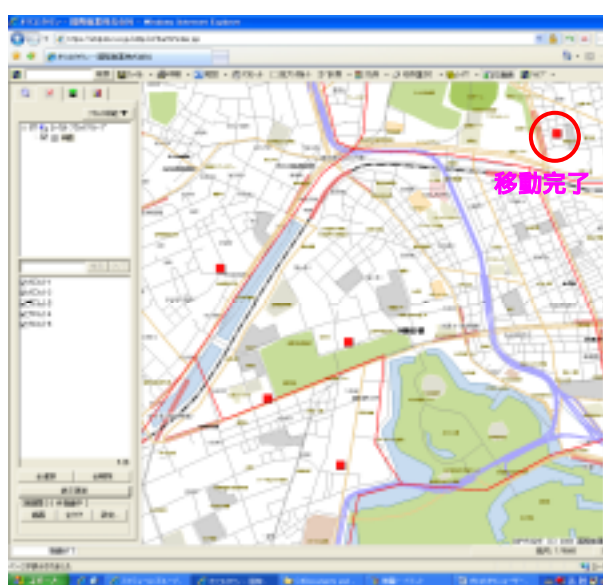
落とした店舗を移動する場合

【プロット機能】 【移動】の順にクリックします。



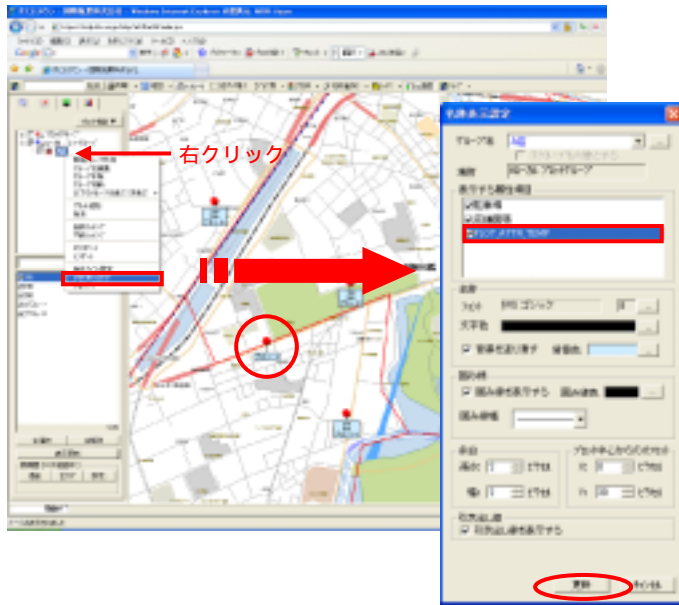
移動させたい店舗をクリックします。

店舗を移動させる場所をクリックします。



店舗が移動します。

1-3-3. 店名を表示するには・・・

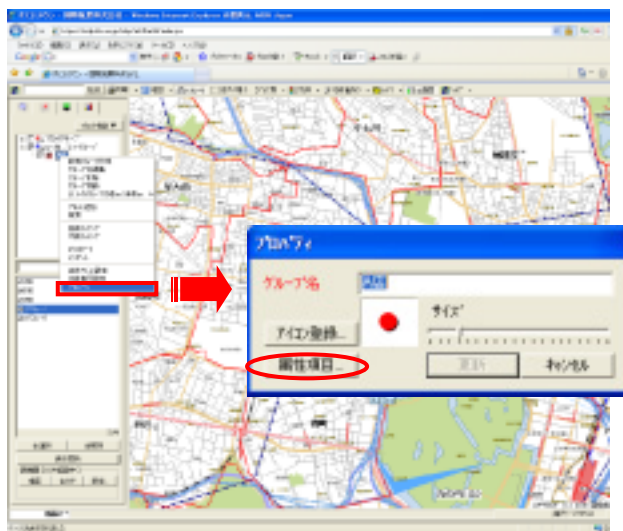


グループ名を右クリックし、【名称表示設定】を選択します。

【名称表示設定】の画面が表示されます。
【PLOT_ATTR_TEMP】のボックスにチェックを入れ、【更新】をクリックします。

地図上に名称が表示されます。

1-3-4. 店舗データに属性（店番・店名の入力）を設定するには・・・



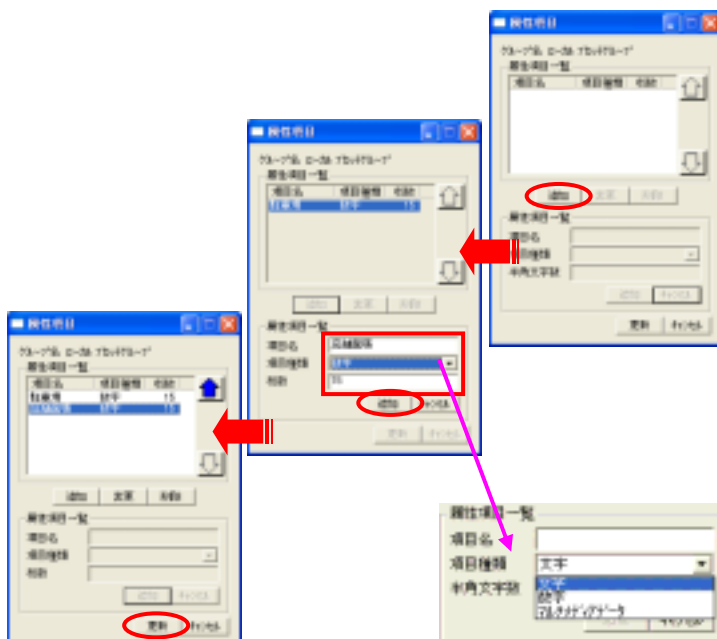
グループ名を右クリックし、【プロパティ】を選択します。

【プロパティ】の画面が表示されますので、【属性項目】をクリックします。

【属性項目】の画面が表示されましたら、【追加】をクリックします。

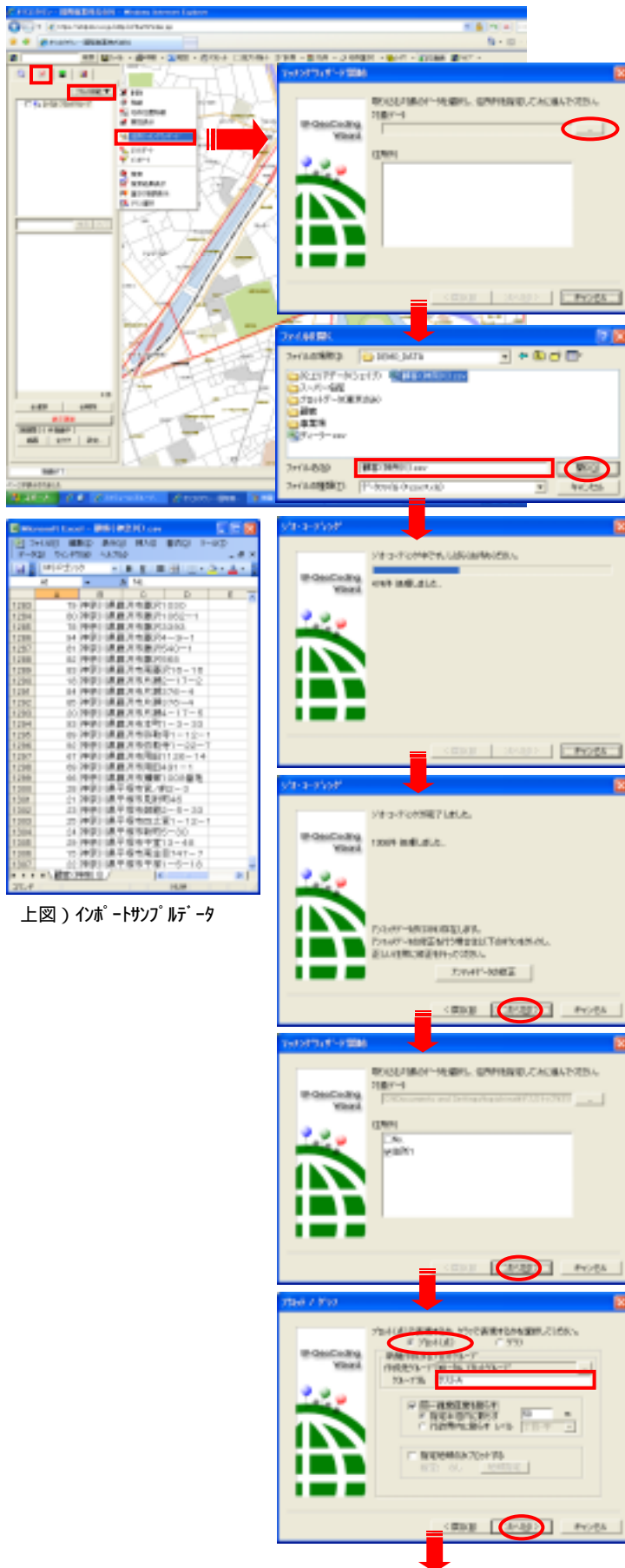
項目名を入力します項目の種類を選択し、必要な桁数（数値の場合：最大 15 桁）を入力します。

必要な属性項目が一覧に記入されましたら、【更新】をクリックします。



1-3-5. エクセルデータ（住所データ・店名・売上金額）を取り込む（インポート）には・・・

エクセルデータと MarketFinder の住所を適合



上図) インポートサンプルデータ

プロットアイコン  をクリックします。

【プロット機能】 【住所マッチングウィザード】をクリックします。

【マッチングウィザード開始】の画面が表示されます。

【対象データ】の【...】をクリックします。

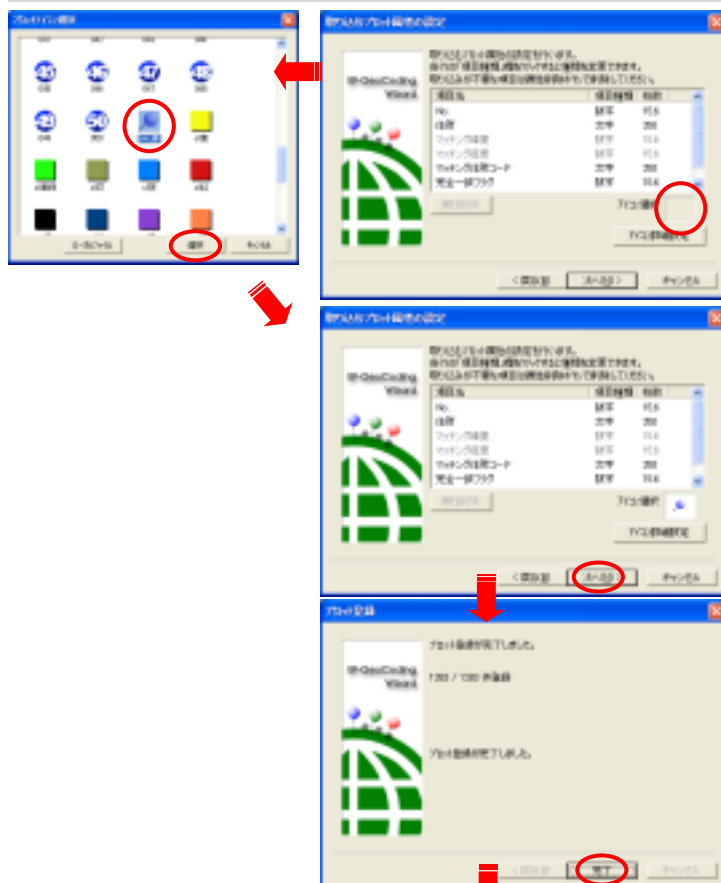
ファイル名を指定して【開く】をクリックします。

しばらくの間、左画面が表示されます。

左画面が表示されましたら、【次へ】をクリックします。

左画面が表示されましたら、【次へ】をクリックします。

左画面が表示されましたら、【プロット】を選択し、【グループ名】を入力し、【次へ】をクリックします。



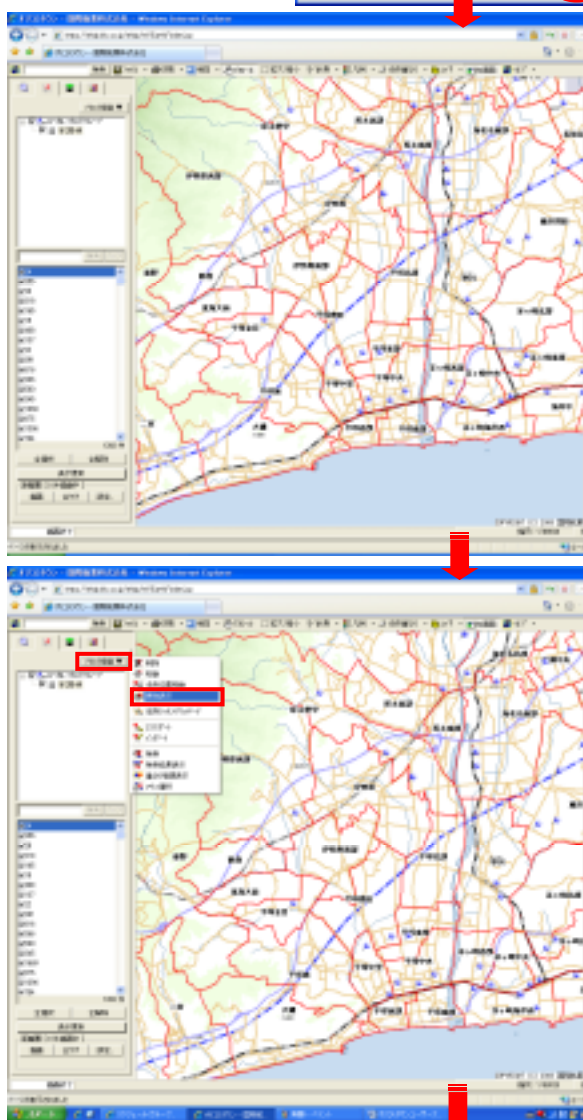
次に店を落とすアイコンを選択します。

【アイコン選択】をクリックすると、【プロットアイコン選択】の画面が表示されます。アイコンを選択し、【選択】をクリックします。

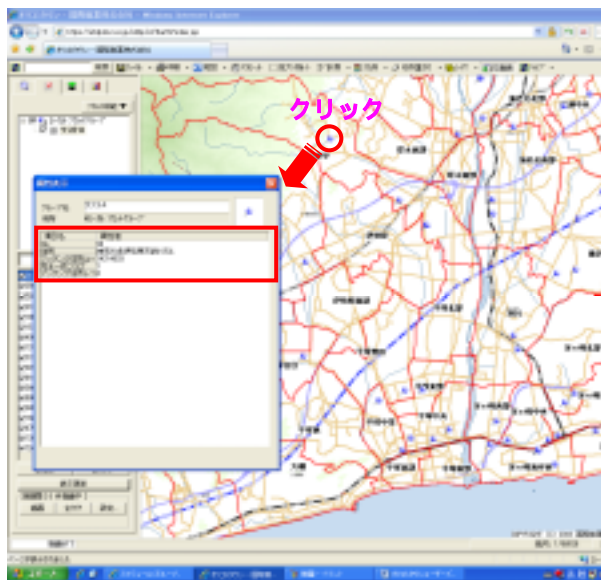
【アイコン選択】に選択したアイコンが表示されたことを確認し、【次へ】をクリックします。

【完了】をクリックします。


インポートが完了します。





【プロット機能】 【属性表示】をクリックします。



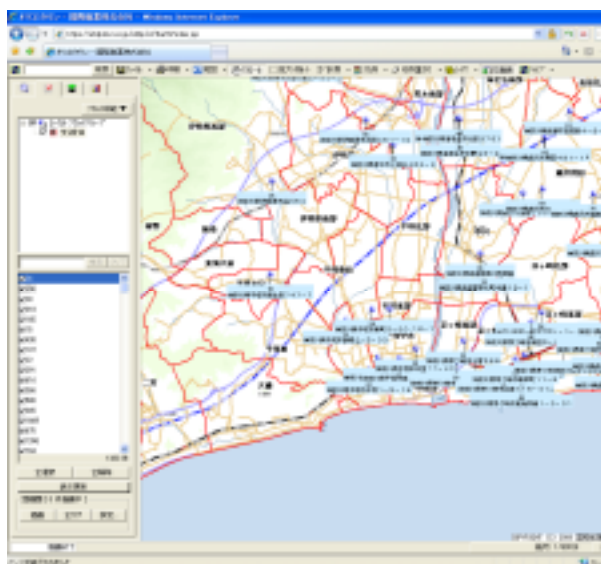
完成

地図上のプロットマーク  をクリックすると、【No】【住所】【住所コード】のデータが表示されます。



また地図画面上に店舗名、住所等データを表示したい場合は、グループ名の左横の名称表示アイコンをクリックして、  に変更します。

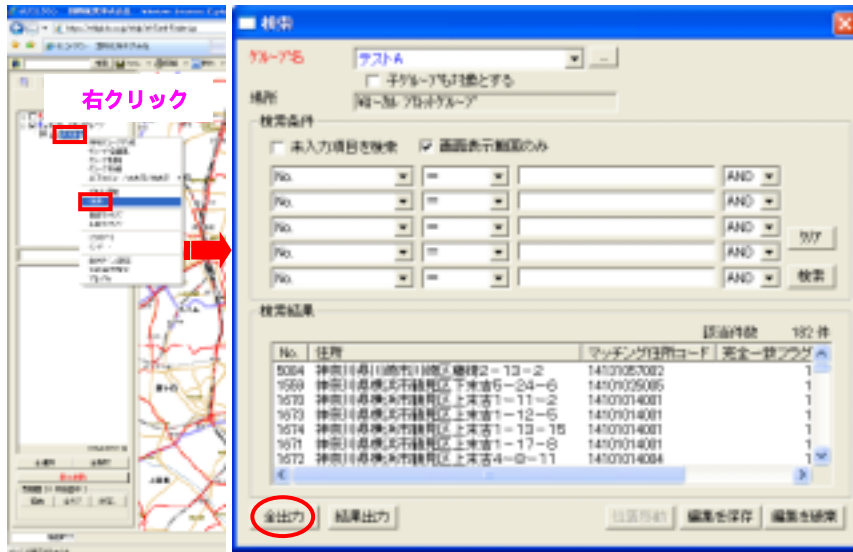
【表示更新】をクリックします。



完成

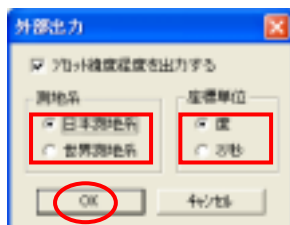
地図上に店舗データが表示されます。

1-3-6. 店舗データを出力（エクスポート）するには・・・

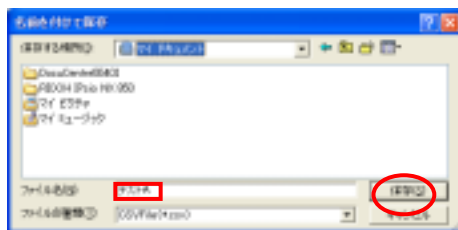


プロットグループを右クリックして【検索】をクリックします。

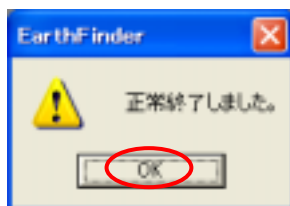
【検索】画面が表示されます。
【全出力】をクリックします。



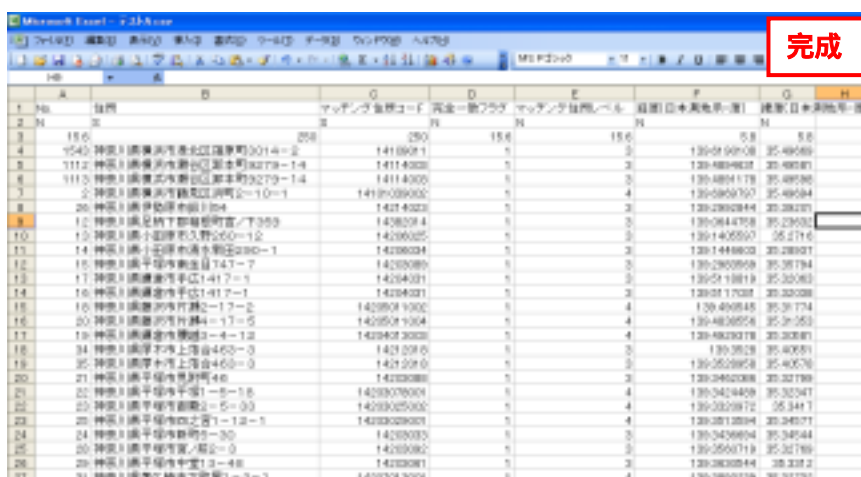
測地系、座標単位を選択し、
【OK】をクリックします。



保存先を指定し、【ファイル名】
を入力し、保存します。

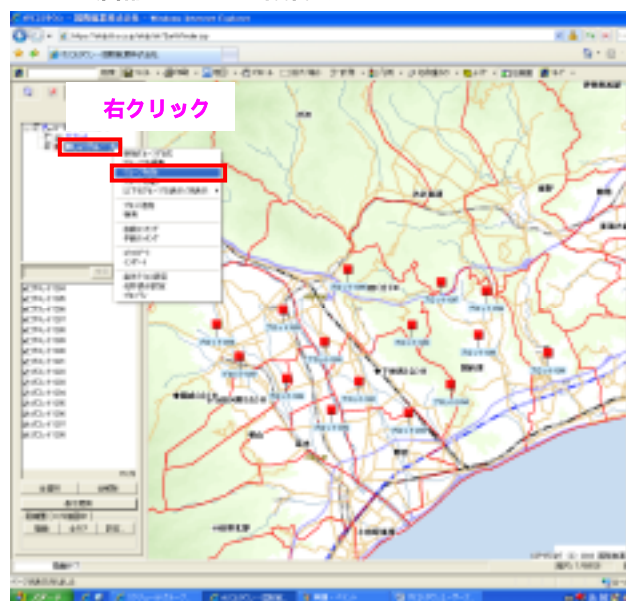


【OK】をクリックします。



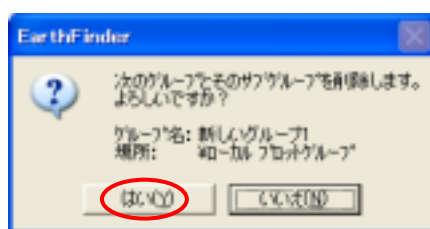
csv 形式で出力します。

1-3-7. 店舗データを削除するには・・・



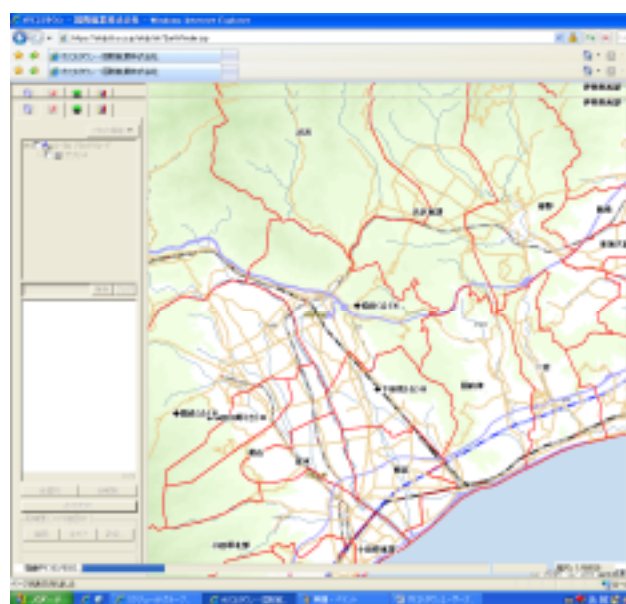
削除したいプロットグループ名を選択し、右クリックします。

【グループ削除】を選択します。



確認画面が表示されます。

【はい】をクリックします。



完成

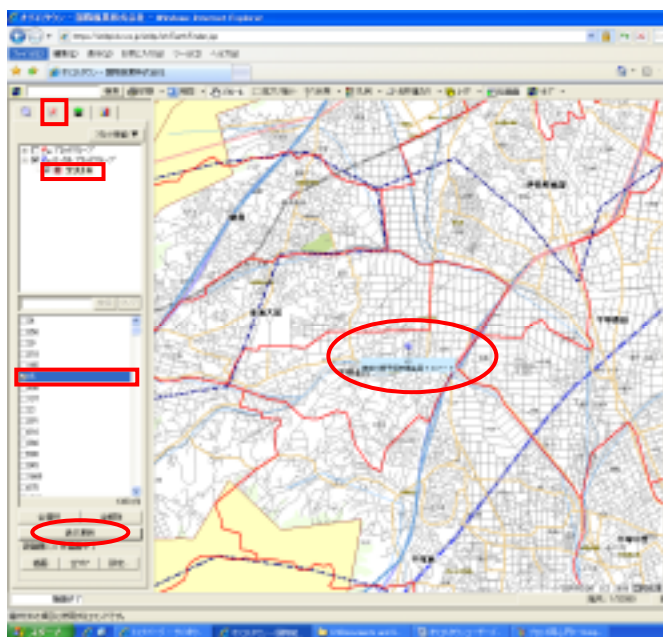
店舗データが削除されます。


▶ 距離円を描く.....	1-4	P. 25
▶ 計測.....	1-5	P. 32
▶ 作図を行なう.....	1-6	P. 33
▶ 統計データ.....	2-1	P. 36
▶ 顧客データ.....	2-2	P. 49
▶ エクセルレポート.....	3-1	P. 59
▶ 印刷.....	3-2	P. 60

1-4.距離円を描く

1-4-1.店舗データに距離円を描くには・・・（単店・複数店）

ケース 店舗データから1店舗（単店）の距離円を描く場合

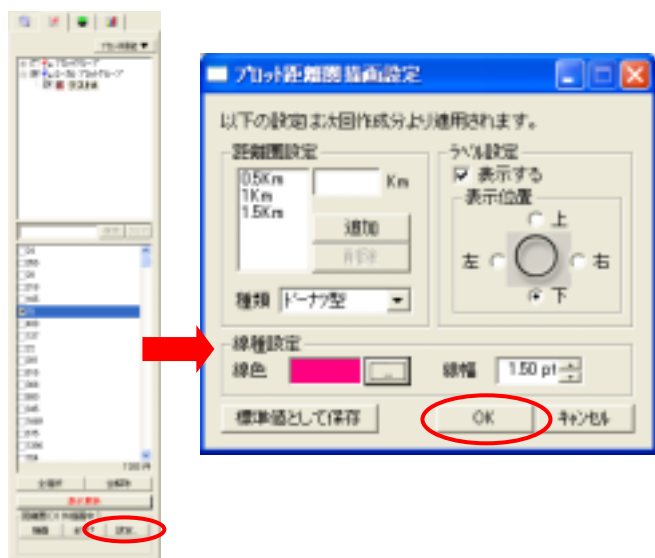


機能レイヤのプロットアイコン  をクリックし、ローカルプロットグループからファイル名を選択します。

表示させたいプロット名を選択します。

【表示更新】をクリックします。

地図画面上にプロットされます。

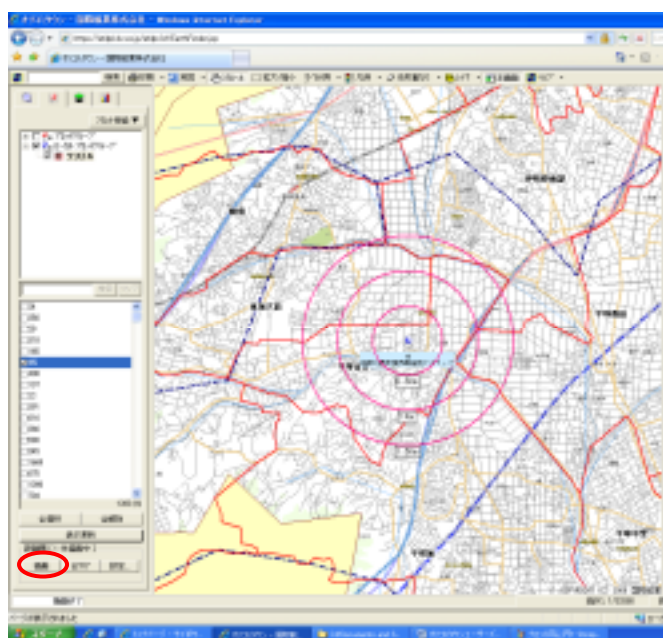


【設定】をクリックすると左図の【プロット距離圏描画設定】の画面が表示されます。

ここで描画の設定を行います。

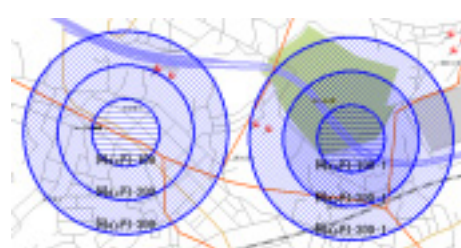
円で表示される距離圏の設定、円の種類、ラベルの表示/非表示とその位置、線色、線幅を設定します。

設定が完了したら、【OK】をクリックします。



完成

ドーナツ型と累積型の円の違い

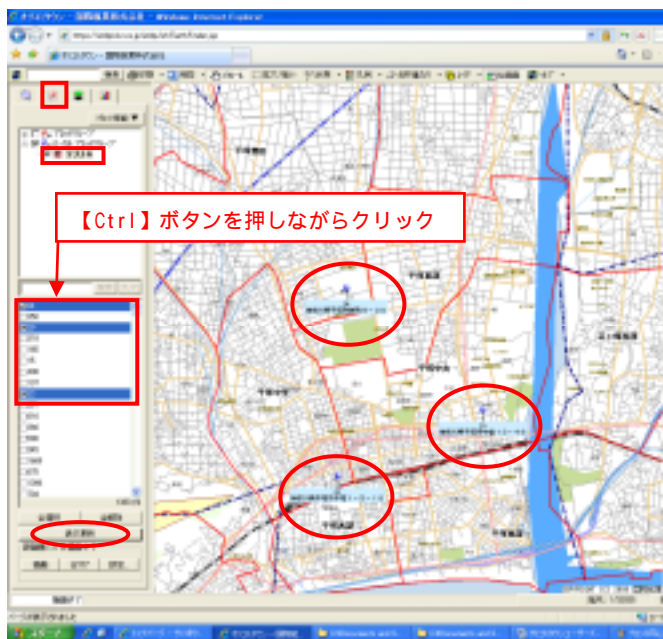



ドーナツ型：
円の重なった部分を除いて表示。

累積型：
円を重ねていく表示。

機能レイヤの【描画】をクリックすると、地図画面上に同心円が表示されます。

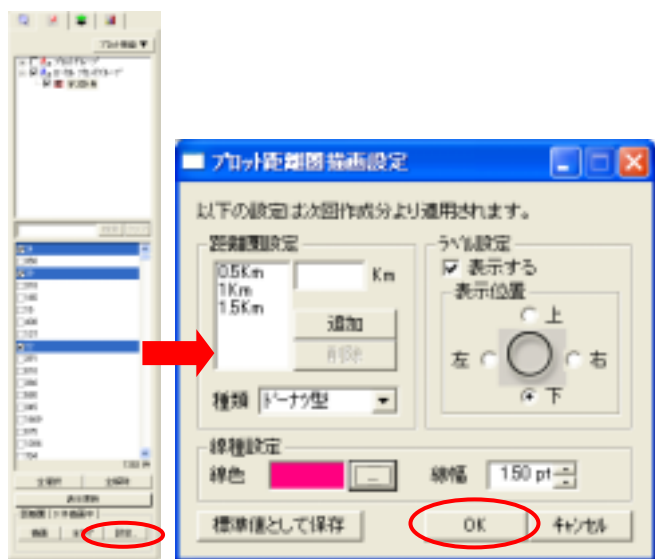
ケース 店舗データから複数店舗の距離円を描く場合



機能レイヤのプロットアイコン  をクリックし、ローカルプロットグループからファイル名を選択します。

表示させたいプロット名を選択します。また複数のプロットデータを選択したい場合は、【Ctrl】キーを押しながら、プロット名をクリックすると、複数のプロットデータを選択することができます。

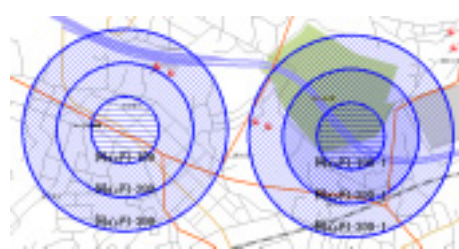
【表示更新】をクリックします。地図画面上にプロットされます。



【設定】をクリックすると左図の【プロット距離圏描画設定】の画面が表示されます。

ここで描画の設定を行います。円で表示される距離圏の設定、円の種類、ラベルの表示/非表示とその位置、線色、線幅を設定します。設定が完了したら、【OK】をクリックします。

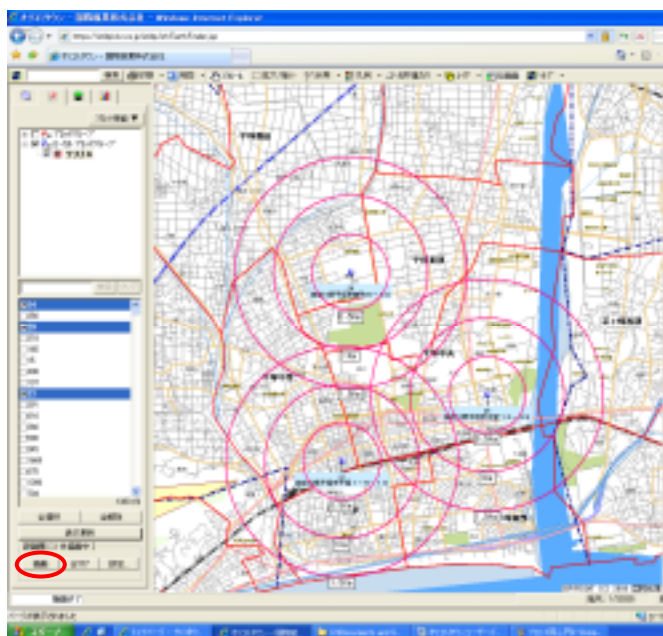
ドーナツ型と累積型の円の違い



ドーナツ型：
円の重なった部分を
除いて表示。

累積型：
円を重ねていく
表示。

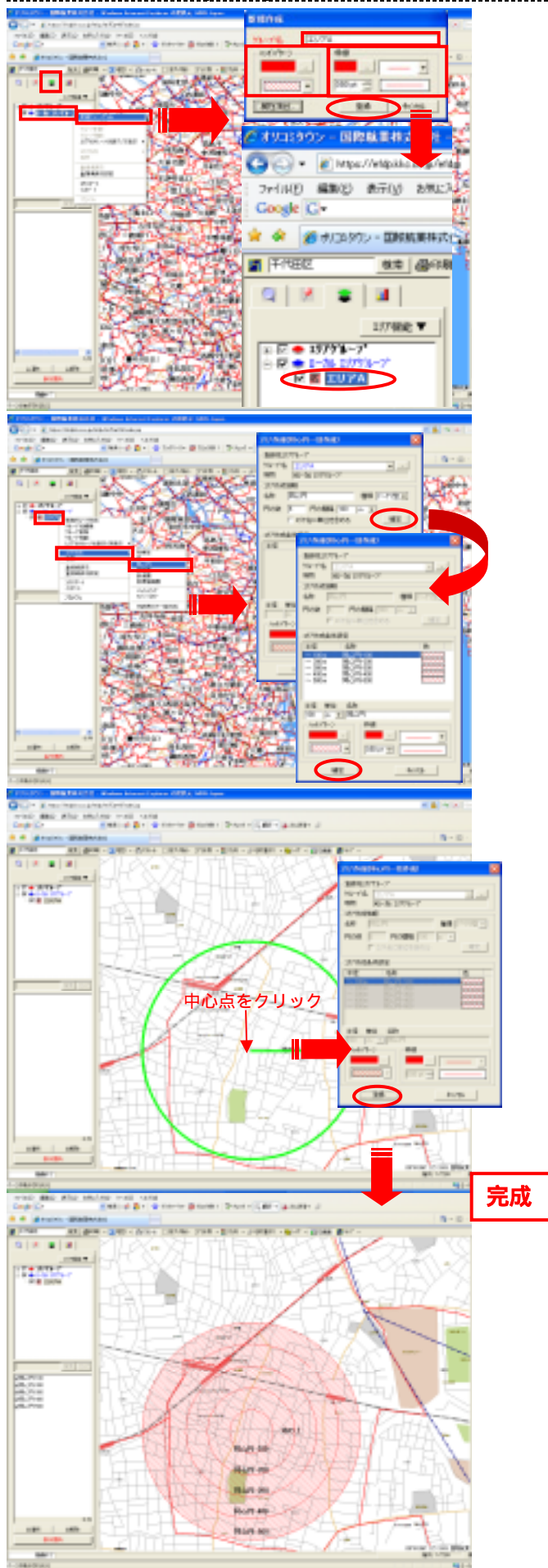
完成




機能レイヤの【描画】をクリックすると、地図画面上に同心円が表示されます。

1-4-2. 任意の距離円を描くには・・・

ケース 1 店舗（単店）の任意の距離円を描く場合



機能レイヤのエリアアイコン  をクリックします。

【ローカルエリアグループ】を右クリックし、
【新規グループ作成】をクリックします。

【新規作成】画面が表示されます。

グループ名、ハッチパターン、枠線を選択し、
【登録】をクリックします。

機能レイヤに新しく作成したグループが表示されます。

【グループ名】を右クリックし、【エリア作成】
作成項目（例では【同心円】）をクリックします。

【エリア作成】画面が表示されたら、エリア
確定情報の【確定】をクリックします。
エリア作成条件設定の【確定】をクリックします。

地図画面上をクリックし、作成エリアの中心
点を決めます。

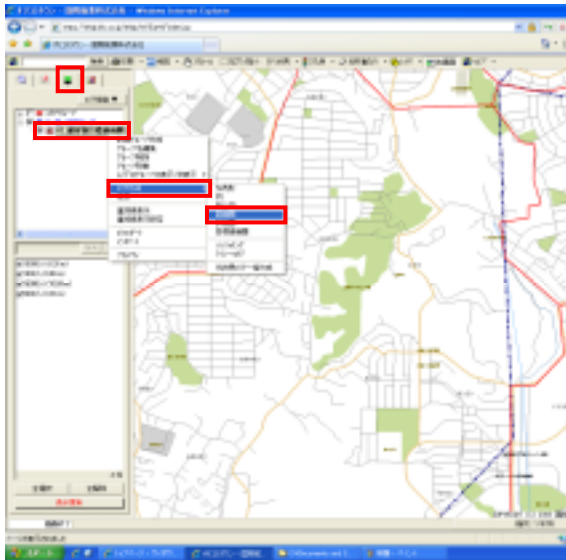
再び【エリア作成】画面に戻り、【登録】を
クリックします。


同心円のエリアが作成されます。

どういったときに使うの？

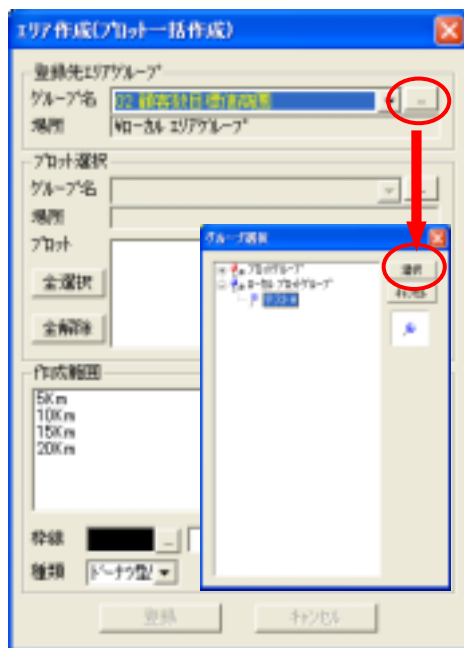
任意の距離円とはお客様の商圏の表示や折
込配布エリアを表示する際に使用します。

ケース 複数店舗の任意の距離円を描く場合



機能レイヤのエリアアイコン  をクリックします。

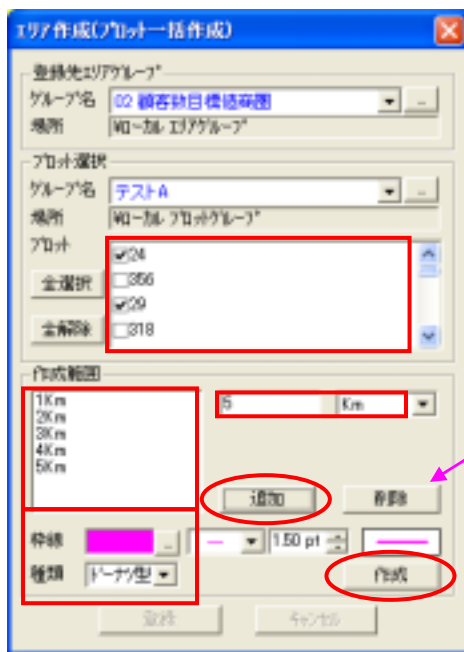
ローカルエリアグループ内のファイル名を右クリックし、【エリア作成】 【距離圏】をクリックします。



【エリア作成（プロット一括作成）】の画面が表示されます。

【プロット選択】欄の【グループ名】を選択する項目をクリックすると【グループ選択】の画面が表示されます。

ファイル名を選択し、【選択】をクリックします。



表示させたいプロットを選択します。

次に作成範囲を決定します。

数値を入力し、単位を選択し、【追加】をクリックします。

追加をクリックすると作成範囲にリストアップされます。

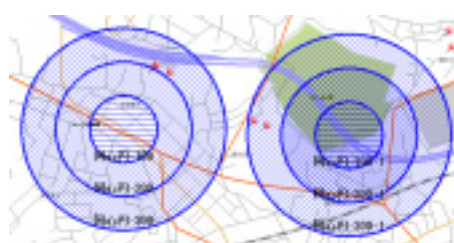
また作成範囲の項目リストを削除したい場合は項目をクリックし、削除をクリックします。

【枠線】や【種類】、線幅などを選択します。

【作成】をクリックします。

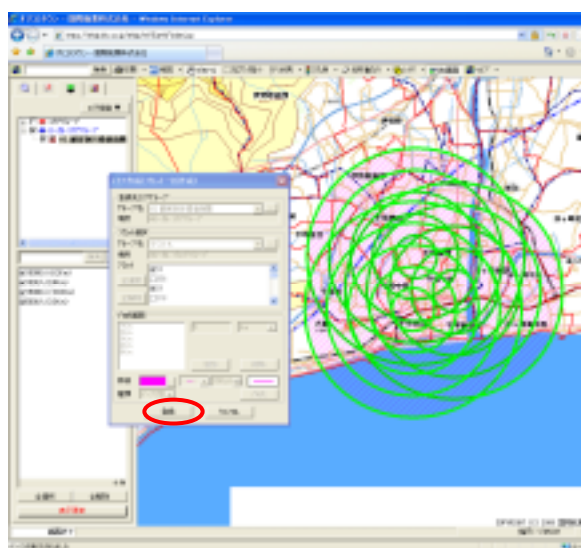
【種類】にはドーナツ型と累積型があります。

ドーナツ型と累積型の円の違い



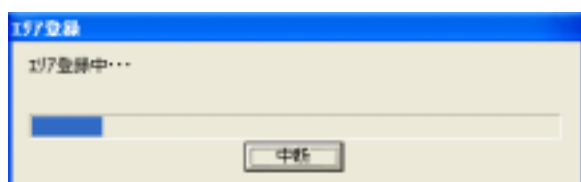
ドーナツ型：
円の重なった部分を除いて表示。

累積型：
円を重ねていく表示。

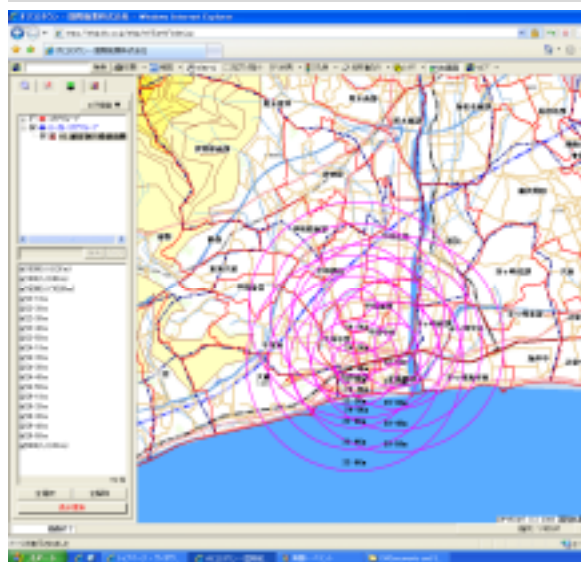


地図画面上に左図のような円がプレビューされます。

【エリア作成(プロット一括作成)】画面の【登録】をクリックします。

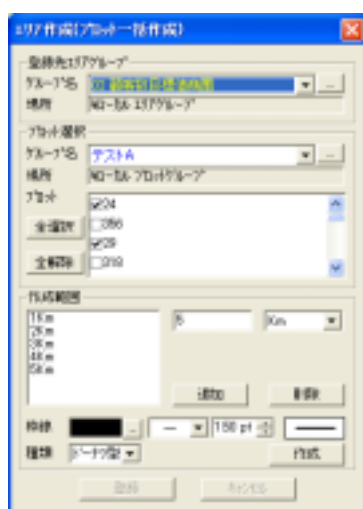


登録中、【エリア登録】画面が表示されます。



完成

地図画面上に同心円が表示されます。

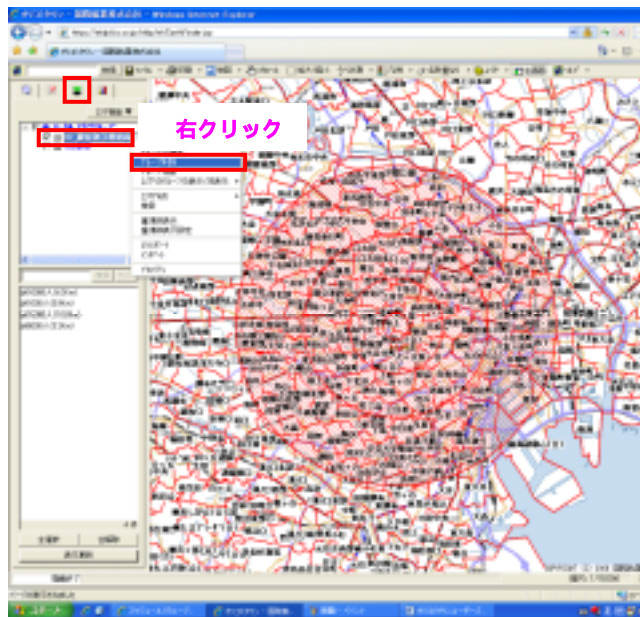



【エリア作成（プロット一括作成）】画面を閉じます。

どういうときに使うの？

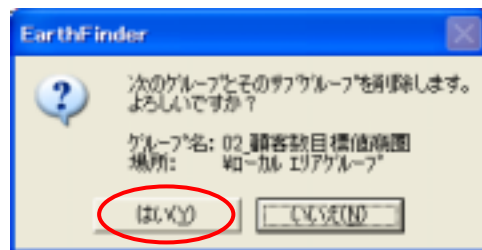
任意の距離円とはお客様の商圏の表示や折込配布エリアを表示する際に使用します。

1-4-3. 距離円を削除するには・・・



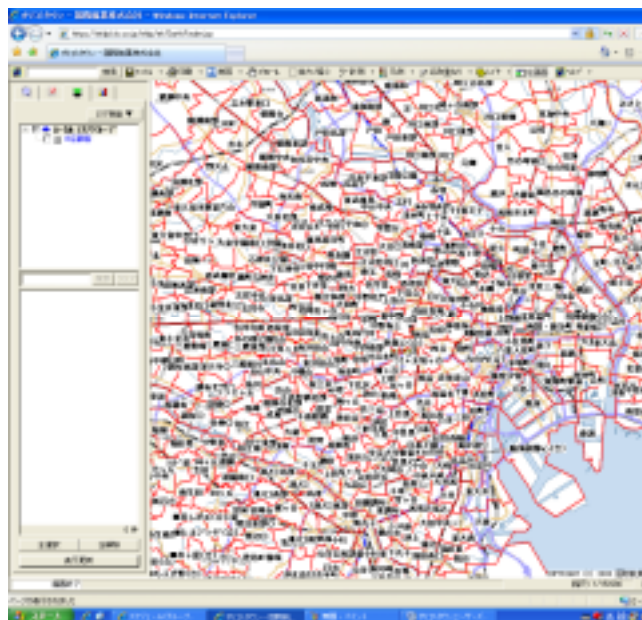
機能レイヤのエリアアイコン  をクリックします。

ローカルエリアグループ内のファイル名を右クリックし、【グループ削除】をクリックします。



確認画面が表示されます。

【はい】をクリックします。



完成

距離円が削除されます。

▶ 計測	1-5	P. 32
▶ 作図を行なう	1-6	P. 33
▶ 統計データ	2-1	P. 36
▶ 顧客データ	2-2	P. 49
▶ エクセルレポート	3-1	P. 59
▶ 印刷	3-2	P. 60

1-5.計測

1-5-1.距離を計測するには・・・

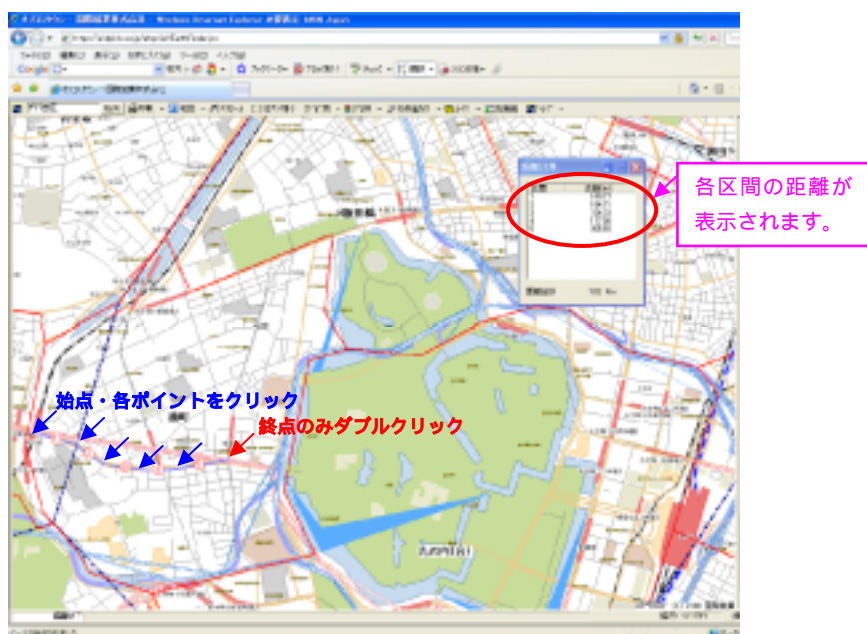


【計測】 【距離計測】をクリックすると、【距離計測】の画面が表示されます。

地図画面上で始点をクリックし、各ポイントごとにクリックしていきます。

このとき【距離計測】画面に各ポイント間の距離が表示されます。

終点でダブルクリックして完了です。



1-5-2.面積を計測するには・・・



【計測】 【面積計測】をクリックすると、【面積計測】画面が表示されます。

各頂点をクリックします。終点でダブルクリックすると、【面積計測】画面に面積が表示されます。



▶ 作図を行なう.....	1-6	P. 33
▶ 統計データ.....	2-1	P. 36
▶ 顧客データ.....	2-2	P. 49
▶ エクセルレポート.....	3-1	P. 59
▶ 印刷.....	3-2	P. 60

1-6.作図を行なう

作図は地図上に図形を描く機能です。新たに施設された道路や鉄道を描くなど様々な用途があります。EarthFinder 内では作図は図形グループという特定のグループに属するように作成します。

1-6-1. 作図パネルを操作するには・・・

機能ボタン

1-6-2.
「機能ボタンを操作するには...」(P.33)


図形グループ欄

1-6-3.
「図形グループ欄を操作するには...」(P.34)

図形オブジェクト欄

1-6-4.
「図形オブジェクト欄を操作するには...」(P.34)



左側の画面の  をクリックすると作図パネルが表示されます。

作図パネルは大きく3つに分かれ、それぞれの操作を行なうことができます。

1-6-2. 機能ボタンを操作するには・・・

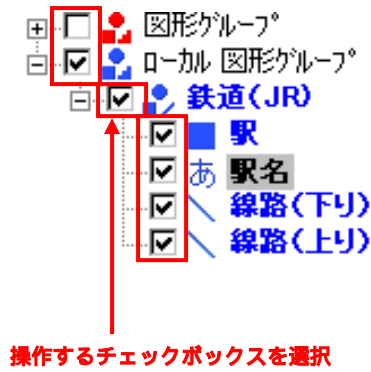
上段：図形作成用 機能ボタン

下段：編集用 機能ボタン



図形作成用の機能ボタンは上段に編集用の機能ボタンは下段に表示されます。

1-6-3. 図形グループ欄を操作するには・・・

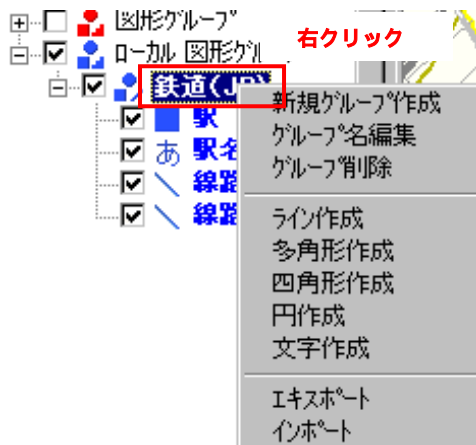


登録されている図形グループが階層に従って表示されます。

図形グループ名称横のチェックボックスでは図形グループの表示状態を操作することができます。

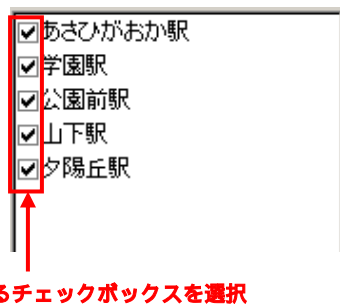
図形グループ名が反転表示されているところはその図形グループが選択されていることを表しています。

各操作は選択している図形グループに対して行なわれます。



図形グループ欄の上で右クリックするとポップアップメニューが表示されます。

1-6-4. 図形オブジェクト欄を操作するには・・・

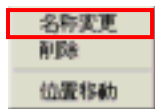


表示させたい図形オブジェクトにチェックを入れます。



図形オブジェクト名の上で右クリックするとポップアップメニューが表示されます。

A．図形オブジェクトの名称変更



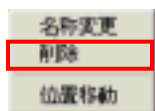
名称を変更する図形オブジェクト名の上で右クリックし、【名称変更】をクリックします。



左側の画面が表示されます。

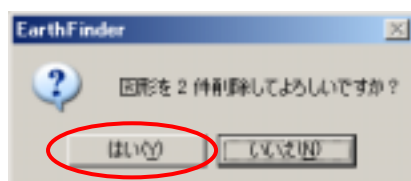
【データ名】を入力し、【更新】をクリックします。

B．図形オブジェクトの削除



削除する図形オブジェクト名の上で右クリックし、【削除】をクリックします。

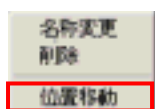
Ctrl キーや Shift キーを押しながらクリックすると複数の図形オブジェクトを選択することができます。



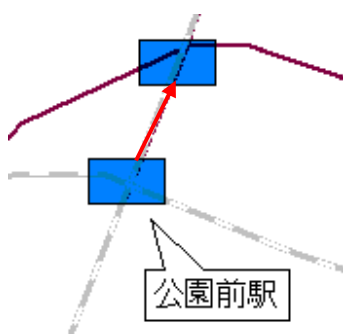
左側の画面が表示されます。

削除件数を確認して、よろしければ【はい】をクリックします。

C．図形オブジェクトの位置移動



位置移動する図形オブジェクト名の上で右クリックし、【位置移動】をクリックします。



選択している図形オブジェクトを中心に地図が移動します。

▶ 統計データ	2-1	P. 36
▶ 顧客データ	2-2	P. 49
▶ エクセルレポート	3-1	P. 59
▶ 印刷	3-2	P. 60


2. 基本機能

2-1.統計データ（国勢調査 2005 年調査版/企業統計データ 2000 年国調×2001 年事業所データ）人口や世帯数といった調査統計指標の集計が簡単に行なえます。表示形式（界面塗り・円グラフ・棒グラフ他）の変更も行なえ、各利用シーンに応じた使い分けが可能です。

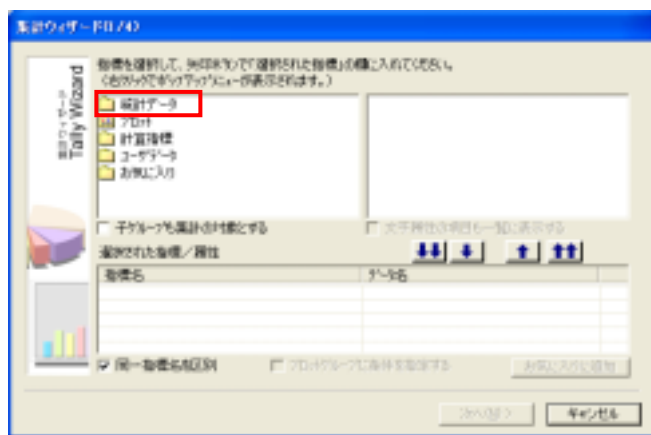
2-1-1.統計データを表示するには・・・

ケース（基礎）世帯数の多い地区、少ない地区を5段階の色を使って表記する(丁目単位)



機能レイヤのグラフアイコン  をクリックします。

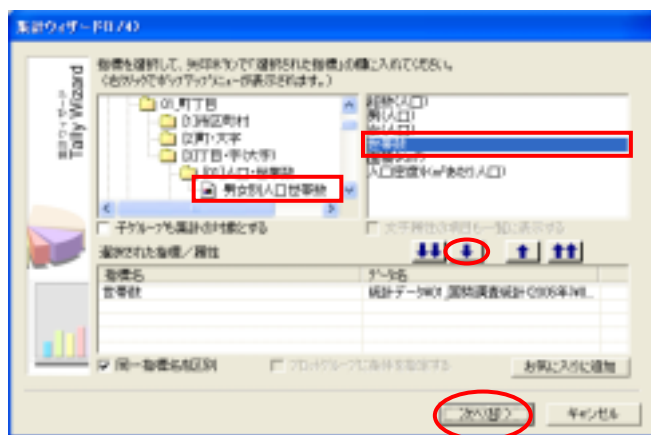
【集計ウィザード】をクリックします。



左画面が表示されます。

【統計データ】をクリックします。

以下は【世帯数】を例にします。



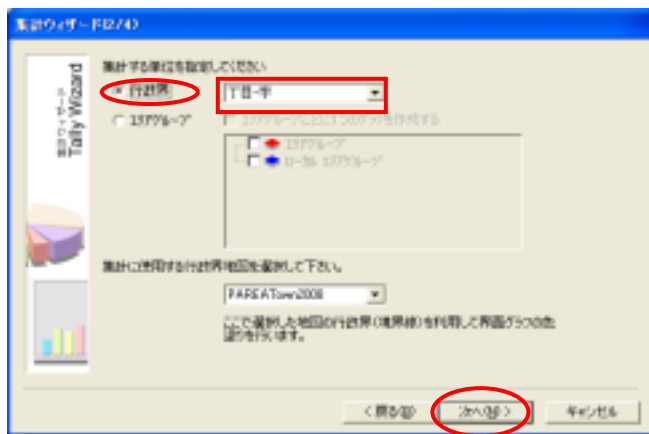
【01_国勢調査統計(2005 年)】 【01_町丁目】

【[3]丁目・字(大字)】 【[01]人口・世帯数】 【男女別人口世帯数】

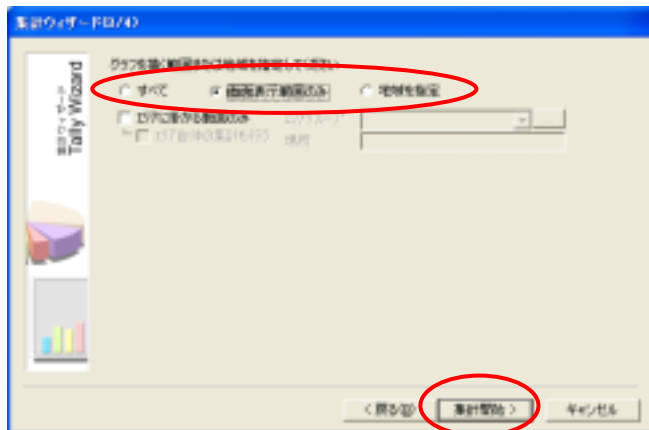
をクリックします。

右側に項目が表示されますので、【世帯数】を選択し、アイコンをクリックします。

下の選択された指標の欄に世帯数が表示されましたら、【次へ】をクリックします。

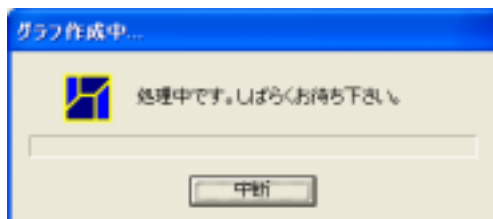


【行政界】をクリックし、【丁目・字】を選択し、【次へ】をクリックします。

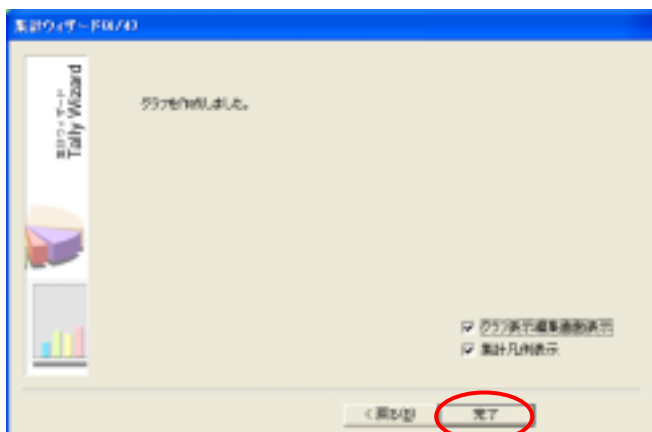


グラフを描く範囲または地域を指定し、【集計開始】をクリックします。

範囲を【すべて】を選択した場合、データ集計にしばらく時間がかかります。

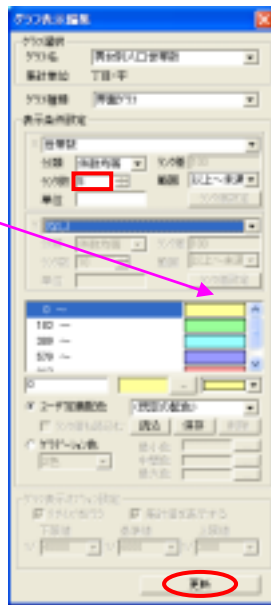
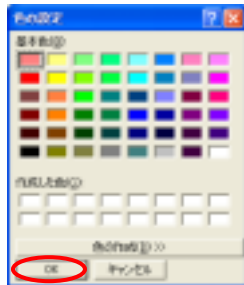


グラフ作成中、左画面がしばらく表示されます。



【グラフ表示編集画面表示】、【集計凡例表示】にチェックし、【完了】をクリックします。

表示色をダブルクリックすると
以下の【色の設定】画面が表示
されます。



【グラフ表示編集】画面が表示されます。
ケース では5段階に表記するので、【ラン
ク数】を5にします。
次にグラフの表示色をダブルクリックして
設定します。

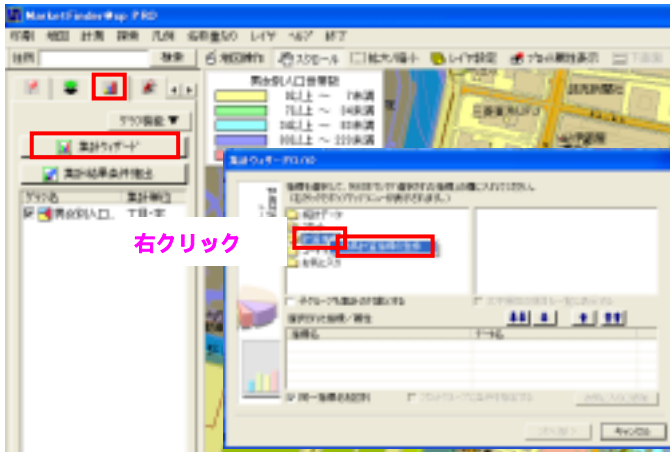
【色の設定】で色を選択し、【OK】をクリッ
クします。

【グラフ表示編集】で【更新】をクリックし
ます。




統計データの地図が表記されます。

ケース（応用）複数の指標を計算して5段階の色を使って表記する(丁目単位)



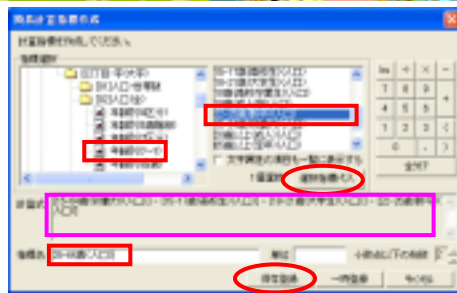
右クリック

機能レイヤのグラフアイコン  をクリックします。

【集計ウィザード】をクリックします。

【計算指標】を右クリックし、【簡易計算指標の登録】をクリックします。

以下は【26-64 歳人口】を例にします。



【簡易計算指標作成】の画面が表示されます。

【統計データ】 【01_国勢調査統計(2005 年)】

【01_町丁目】 【[3]丁目・字(大字)】

【[02]人口(全)】 【年齢別(テーマ)】をクリックします。

計算式を入力します。入力方法は以下の計算式入力方法を参照して下さい。

計算式入力方法

計算式: [15-64 歳(労働力)(人口)] - [15-17 歳(高校生)(人口)]

- [18-21 歳(大学生)(人口)] - [22-25 歳(新卒)(人口)]

1. 【15-64 歳(労働力)(人口)】をクリックし、【選択指標代入】をクリックします。
2. 【-】をクリックします。
3. 【15-17 歳(高校生)(人口)】をクリックし、【選択指標代入】をクリックします。
4. 【-】をクリックします。
5. 【18-21 歳(大学生)(人口)】をクリックし、【選択指標代入】をクリックします。
6. 【-】をクリックします。
7. 【22-25 歳(新卒)(人口)】をクリックし、【選択指標代入】をクリックします。
8. 【指標名】を入力し、【保存登録】をクリックします。



↓ アイコンをクリックし、選択された指標を表示させ、【次へ】をクリックします。



【行政界】を選択し、【次へ】をクリックします。



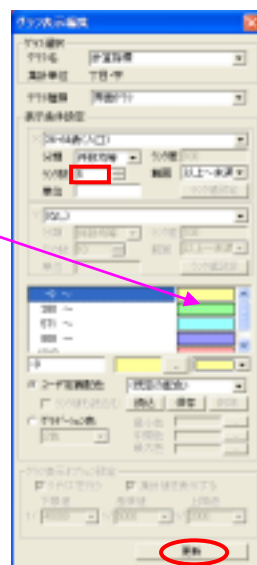
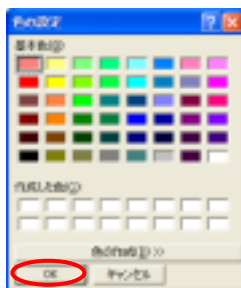
グラフを描く範囲または地域を指定し、【集計開始】をクリックします。

範囲を【すべて】を選択した場合、データ集計にしばらく時間がかかります。



【グラフ表示編集】、【集計凡例表示】にチェックし、【完了】をクリックします。

表示色をダブルクリックすると以下の【色の設定】画面が表示されます。



【グラフ表示編集】画面が表示されます。ケースでは5段階に表記するので、【ランク数】を5にします。次にグラフの表示色をダブルクリックして設定します。

【色の設定】で色を選択し、【OK】をクリックします。

【グラフ表示編集】で【更新】をクリックします。




統計データの地図が表記されます。

ケース（応用）ランクと指標の条件を組み合わせて表記する(丁目単位)

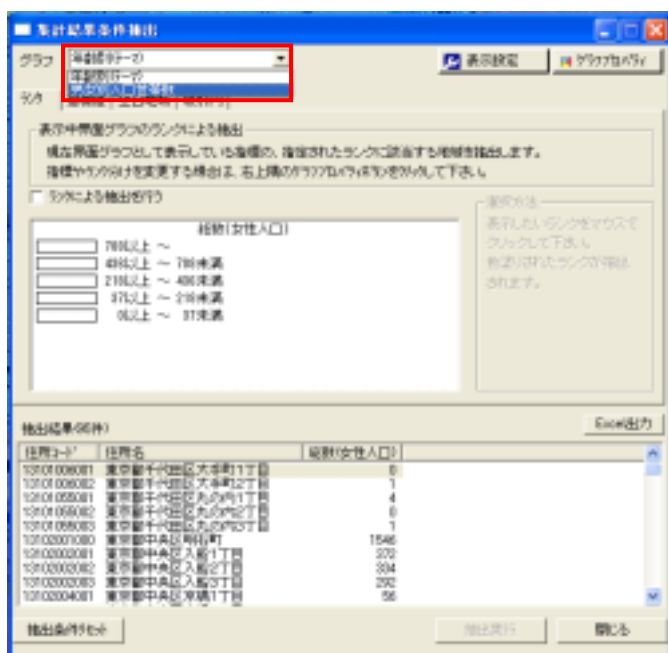


ここでは作成済みのグラフに対して、ランク上位3つと人口2000人以上の複数条件を組み合わせて表記します。

機能レイヤのグラフアイコン  をクリックします。

【集計結果条件抽出】をクリックします。

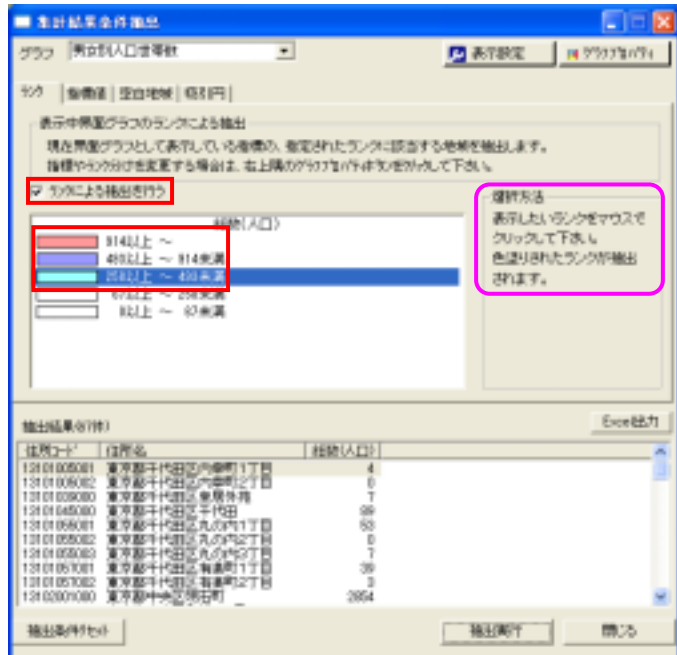
条件抽出するグラフを選択します。

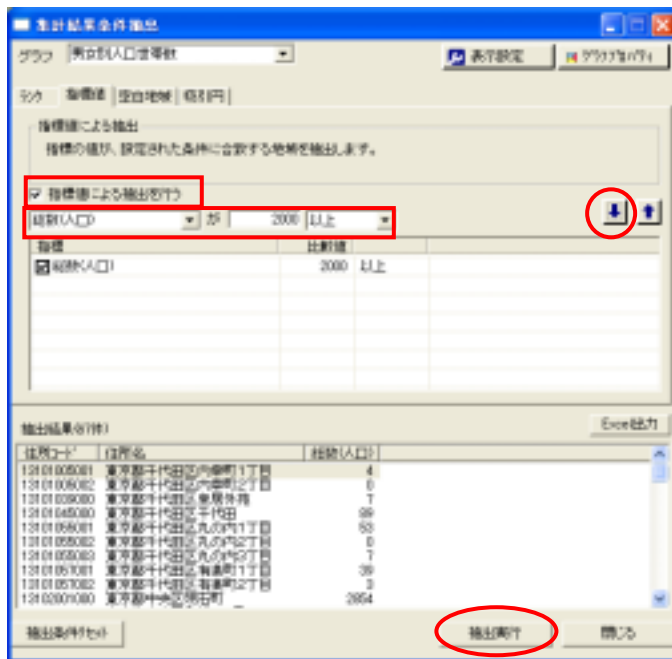


まず【ランク】の条件設定を行ないます。

【ランク】タブをクリックします。

【ランクによる抽出を行う】にチェックを入れ、総数（人口）の上位3つのランクをクリックします。





次に【指標値】の条件設定を行ないます。

【指標値】タブをクリックします。

【指標値による抽出を行う】にチェックを入れます。

数値を入力します。

↓ アイコンをクリックすると、【指標】項目が表示されます。

以上で条件設定の完了ですので【抽出実行】をクリックします。



ランク上位3つと人口2000人以上の条件下で丁目別に表示されます。


2-1-2. 距離円内の面積按分データを抽出し、エクセル出力するには・・・

ケース 抽出対象1店舗(単店)の距離円内から面積按分データを抽出する場合

最初に1店舗の距離円を描きます。

描き方は『P.25 1-4-1.店舗データから距離円を描くには・・・(単店・複数店) 店舗データから1店舗(単店)の距離円を描く場合』を参照して下さい。



機能レイヤのグラフアイコン  をクリックします。


【グラフ機能】をクリックし、【統計データ集計】をクリックします。

【統計データ】を選択します。

以下は【世帯数】を例にします。

【国勢調査町丁目】 【[3]丁目・字(大字)】

【[01]人口・世帯数】 【男女別人口世帯数】をクリックします。

右側に項目が表示されますので、【世帯数】を選択し、 アイコンをクリックし、選択された指標へ表示させ、【次へ】をクリックします。

【エリアグループ】を選択し、【エリアグループ】名にチェックを入れ、【次へ】をクリックします。

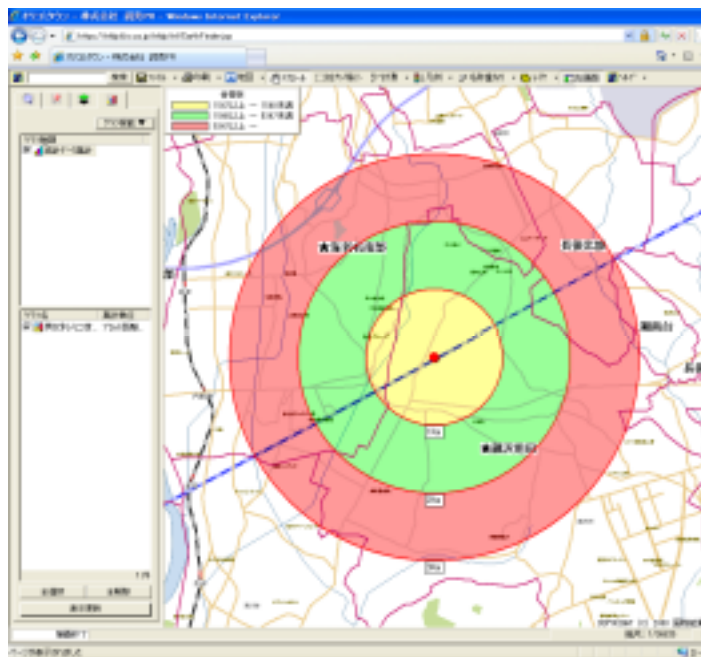
グラフを描く範囲または地域を指定します。

【集計開始】をクリックします。

グラフを作成中、左画面が表示されます。

範囲を【すべて】を選択した場合、グラフ作成にしばらく時間がかかります。

【グラフ表示編集】、【集計凡例表示】にチェックし、【完了】をクリックします。



地図画面上に面積按分データが表示されます。

グラフデータ表示

男女別人口世帯数 (2件)
(右クリックでグラフ/マップにユーザ表示)

表示 エリア名 世帯数

☒ 00-1Km 1047

☒ 00-2Km 5346

☒ 00-3Km 16919

選択

表示方法: ☒ すべてON ☐ すべてOFF ☐ X,Y上層から ☐ 件を ON 表示更新

明細データ

住所名	集計率	世帯数
神奈川県横浜市西区	2.3%	26
神奈川県横浜市西区	10.1%	170
神奈川県横浜市西区	1.9%	14
神奈川県横浜市西区	91.1%	1305
神奈川県横浜市西区	0.1%	1
神奈川県横浜市西区	23.0%	123

【グラフデータ表示】画面が表示されます。
【明細データ】に各地区の集計率がリストアップされます。
【明細も出力】にチェックを入れます。
【Excel 出力】をクリックします。

名前を付けて保存

保存する場所: マニュアル利用データ

ファイル名: 男女別人口世帯数_顧客A_60.xls

ファイルの種類: Excelファイル (*.xls)

保存

保存先を指定しファイル名を入力し、【保存】をクリックします。

【ファイルの種類】は Excel ファイルが必ず指定されます。



【OK】をクリックします。

Excel 形式でデータが作成されます。

Microsoft Excel - 男女別人口世帯数 脚本A.20.xls

完成

住所名	世帯数
1 住所名	
2 69-1Km	1547
3 69-2Km	5346
4 69-3Km	16919
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	

男女別人口世帯数 69-1Km/69-2Km/69-3Km/

Microsoft Excel - 男女別人口世帯数 脚本A.20.xls

完成

住所名	世帯率	世帯数
1 住所名		
2 神奈川県横浜市行田	2.20%	20
3 神奈川県横浜市通津	18.10%	170
4 神奈川県横浜市宮原	1.80%	14
5 神奈川県横浜市岡田	91.10%	1,205
6 神奈川県鎌倉市本郷	0.10%	1
7 神奈川県横浜市吉岡	22.00%	123
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		

男女別人口世帯数 69-1Km/69-2Km/69-3Km/

Microsoft Excel - 男女別人口世帯数 脚本A.20.xls

完成

住所名	世帯率	世帯数
1 住所名		
2 神奈川県横浜市行田	41.60%	459
3 神奈川県横浜市通津	5.70%	38.5
4 神奈川県横浜市瀬部	20.00%	88
5 神奈川県横浜市通津	95.60%	587
6 神奈川県横浜市鶴岡	35.00%	643
7 神奈川県横浜市宮原	43.10%	201
8 神奈川県横浜市岡田	8.90%	117
9 神奈川県鎌倉市本郷	33.90%	1127
10 神奈川県鎌倉市本郷	53.30%	579
11 神奈川県横浜市吉岡	59.10%	38.7
12 神奈川県横浜市吉岡東1丁目	85.90%	149
13 神奈川県横浜市吉岡東2丁目	100.00%	63
14 神奈川県横浜市吉岡東3丁目	100.00%	42
15 神奈川県横浜市吉岡東4丁目	100.00%	74
16 神奈川県横浜市吉岡東5丁目	70.80%	173
17 神奈川県横浜市吉岡北2丁目	28.40%	3
18 神奈川県横浜市吉岡北3丁目	70.00%	7
19 神奈川県横浜市吉岡南1丁目	85.60%	137
20 神奈川県横浜市吉岡南2丁目	83.90%	283

男女別人口世帯数 69-1Km/69-2Km/69-3Km/

Microsoft Excel - 男女別人口世帯数 脚本A.20.xls

完成

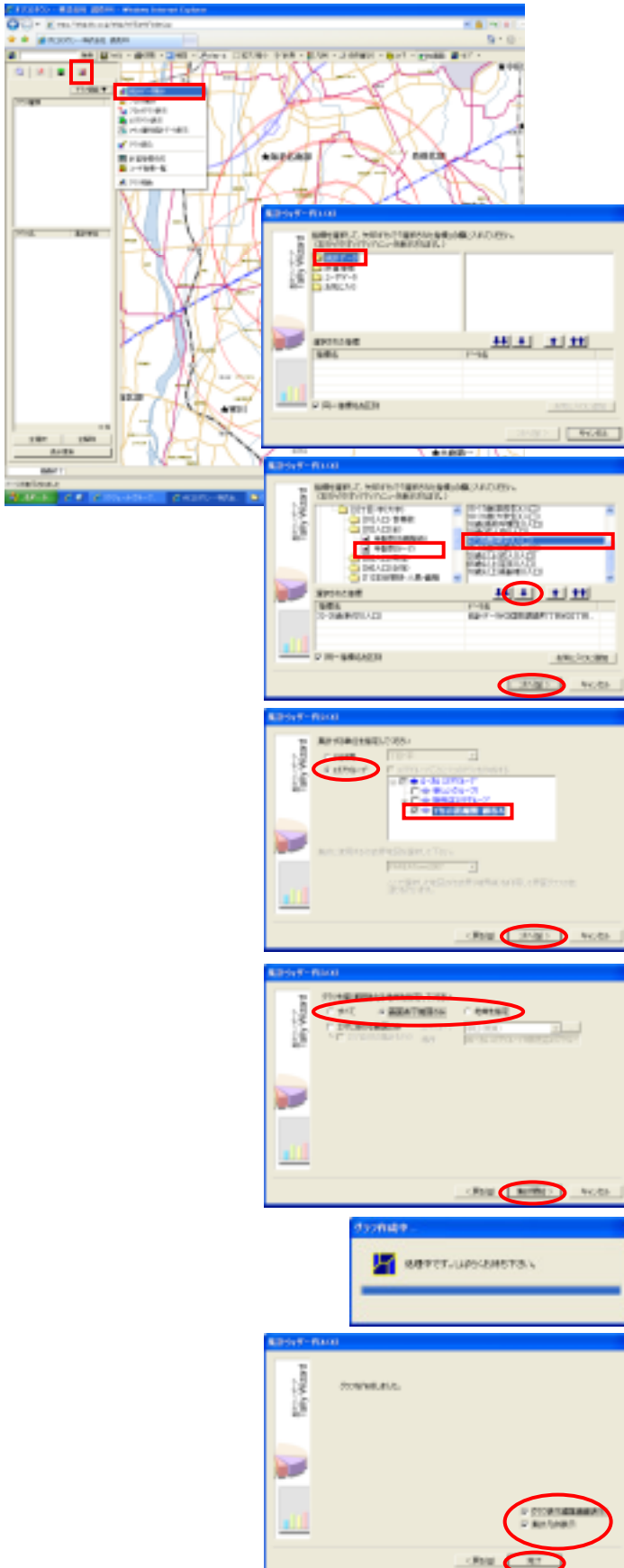
住所名	世帯率	世帯数
1 住所名		
2 神奈川県横浜市石川	0.10%	1
3 神奈川県横浜市行田	47.10%	518
4 神奈川県横浜市通津	20.20%	1,949
5 神奈川県横浜市瀬部	45.30%	200
6 神奈川県横浜市通津	11.70%	175
7 神奈川県横浜市土郷	6.10%	196
8 神奈川県横浜市鶴岡	52.40%	934
9 神奈川県横浜市土郷	22.80%	24
10 神奈川県横浜市宮原	54.80%	422
11 神奈川県鎌倉市本郷	1.50%	11
12 神奈川県鎌倉市本郷	0.00%	66
13 神奈川県鎌倉市本郷	18.70%	483
14 神奈川県鎌倉市本郷1丁目	17.20%	35
15 神奈川県鎌倉市本郷2丁目	8.40%	13
16 神奈川県鎌倉市本郷3丁目	83.00%	65
17 神奈川県鎌倉市本郷4丁目	34.20%	129
18 神奈川県鎌倉市本郷5丁目	88.70%	331
19 神奈川県鎌倉市本郷6丁目	100.00%	401
20 神奈川県鎌倉市本郷7丁目	0.20%	2


男女別人口世帯数 69-1Km/69-2Km/69-3Km/

ケース 抽出対象複数店舗の距離円内から面積按分データを抽出する場合

最初に複数店舗の距離円を描きます。

描き方は『P.26 1-4-1.店舗データから距離円を描くには・・・(単店・複数店) 店舗データから複数店舗の距離円を描く場合』を参照して下さい。




機能レイヤのグラフアイコン  をクリックします。

【グラフ機能】をクリックし、【統計データ集計】をクリックします。

【統計データ】を選択します。

以下は【22-25歳人口】を例にします。

【国勢調査町丁目】 【[3]丁目・字(大字)】 【[02]人口(全)】 【年齢別(テーマ)】をクリックします。

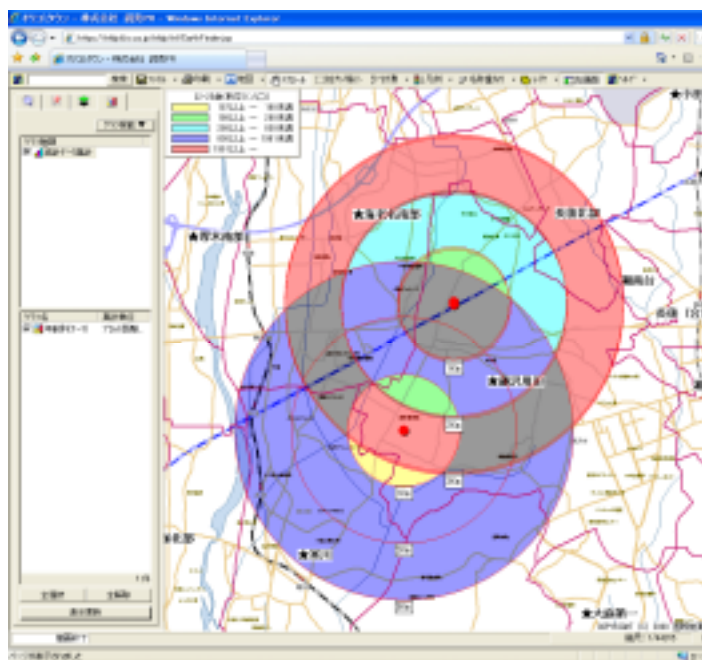
右側に項目が表示されますので、【22-25歳(新卒)(人口)】をクリックし、 アイコンをクリックし、選択された指標へ表示させ、【次へ】をクリックします。

【エリアグループ】を選択し、【エリアグループ】名にチェックを入れ、【次へ】をクリックします。

グラフを描く範囲または地域を指定します。
【集計開始】をクリックします。

グラフを作成中、左画面が表示されます。
範囲を【すべて】を選択した場合、しばらく時間がかかります。

【グラフ表示編集】、【集計凡例表示】にチェックし、【完了】をクリックします。



地図画面上に面積按分データが表示されます。

グラフデータ表示

年別集計データ(2000年)

(右クリックでグラフデータ表示)

CSV出力 Excel出力 明細も出力

表示	エリア名	22-25歳(割合)(人口)
<input checked="" type="checkbox"/>	07-1Km	206
<input checked="" type="checkbox"/>	07-2Km	829
<input checked="" type="checkbox"/>	07-3Km	2315
<input checked="" type="checkbox"/>	09-1Km	207
<input checked="" type="checkbox"/>	09-2Km	921
<input checked="" type="checkbox"/>	09-3Km	2314
<input checked="" type="checkbox"/>	09-4Km	197
<input checked="" type="checkbox"/>	09-5Km	995
<input checked="" type="checkbox"/>	09-6Km	1900

選択

表示が すべてON すべてOFF 対上層から 件を ON 表示更新

明細データ

住所名	集計率	22-25歳(割合)(人口)
神奈川県横浜市戸塚区	15%	2
神奈川県横浜市都筑区	17.6%	34
神奈川県横浜市青葉区	1.2%	1
神奈川県横浜市旭区	88.7%	159
神奈川県横浜市神奈川区	0.3%	0
神奈川県横浜市西区	26.0%	21

【グラフデータ表示】画面が表示されます。
 【明細データ】に各地区の集計率がリストアップされます。
 【明細も出力】にチェックを入れます。
 【Excel 出力】をクリックします。

名前を付けて保存

保存する場所: マニュアル利用データ

ファイル名: 年別集計データ_顧客A_678966

ファイルの種類: Excelファイル (*.xls)

保存(S) キャンセル

保存先を指定し、ファイル名を入力し、【保存】をクリックします。

【ファイルの種類】はExcel ファイルが必ず指定されます。



【OK】をクリックします。

Excel 形式でデータが作成されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	137名	22-25歳(学生人口)								
2	67-10歳	200								
3	67-20歳	829								
4	67-30歳	2315								
5	68-10歳	207								
6	68-20歳	821								
7	68-30歳	2214								
8	66-10歳	197								
9	66-20歳	895								
10	66-30歳	1930								
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	住居名	集計率	22-25歳(学生人口)							
2	神奈川県藤沢市打根	1.50%	2							
3	神奈川県藤沢市東海	17.60%	24							
4	神奈川県藤沢市吉澤	1.20%	1							
5	神奈川県藤沢市岡田	89.10%	159							
6	神奈川県藤沢市本郷	0.30%	0							
7	神奈川県藤沢市西郷	26.00%	21							
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										

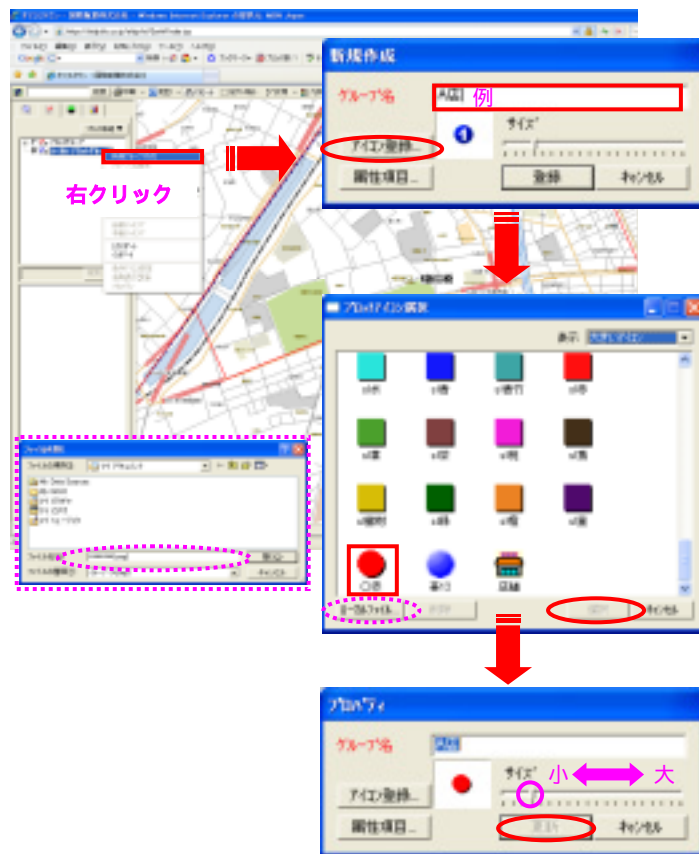
以下シート画面省略

▶ 顧客データ	2-2	P. 49
▶ エクセルレポート	3-1	P. 59
▶ 印刷	3-2	P. 60

2-2.顧客データ

店舗や顧客の分布より、販売店エリアや行政区（町丁目）での集計が行なえます。
 国勢調査データなどと組み合わせ、地域シェア分析などが簡単に行なえます。

2-2-1. マウスクリックで来店客分布状況を落とすには・・・



【ローカルプロットグループ】 【新規グループの作成】をクリックします。

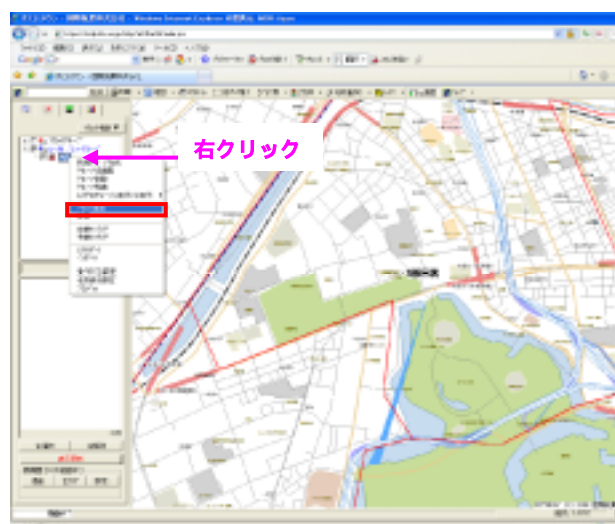
【新規作成】の画面が表示されたら、
 グループ名を入力します。
 アイコン登録をクリックします。

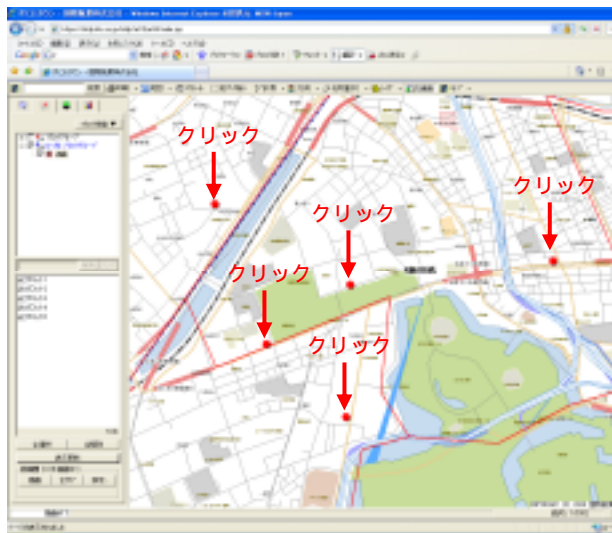
【プロットアイコン選択】の画面が表示されたらアイコンを選択し、【選択】をクリックします。

オリジナルのプロットアイコンを使う場合は、【ローカルファイル】をクリックし、bmp形式のファイルを設定することができます。

【更新】をクリックします。
 アイコンの大きさを変更する場合は
 【サイズ】項目のカーソルを動かして調整します。

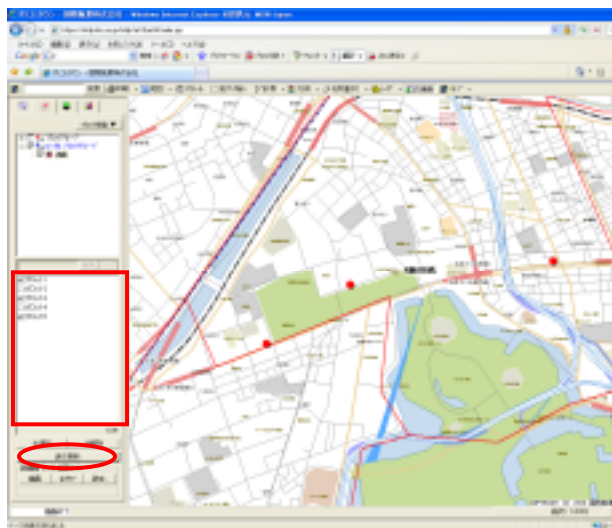
グループ名を右クリックをし、【プロット追加】を選択します。





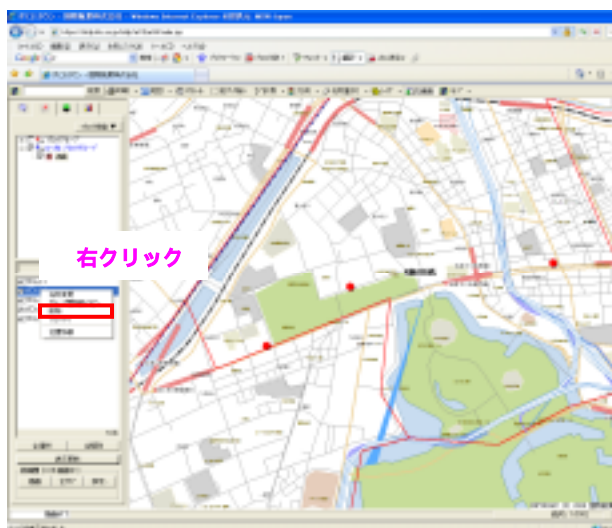
完成

地図上でプロットさせたい箇所をクリックするとアイコンが表示され、店舗が落とされます。



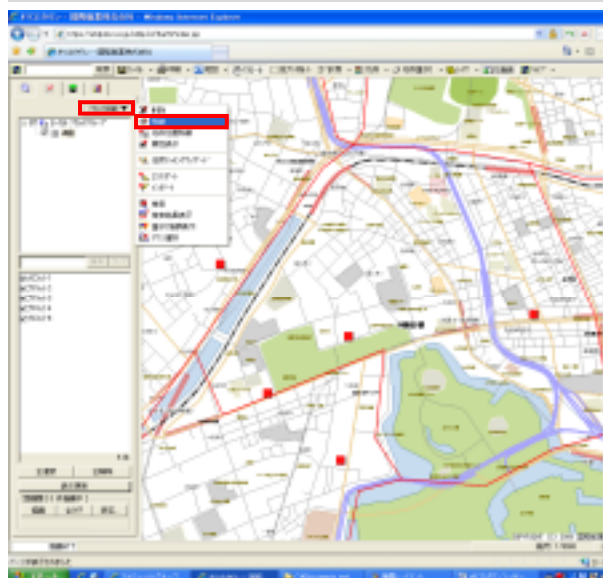
落とした店舗を非表示にする場合

非表示にしたいプロットのチェックを外し、【表示更新】をクリックします。



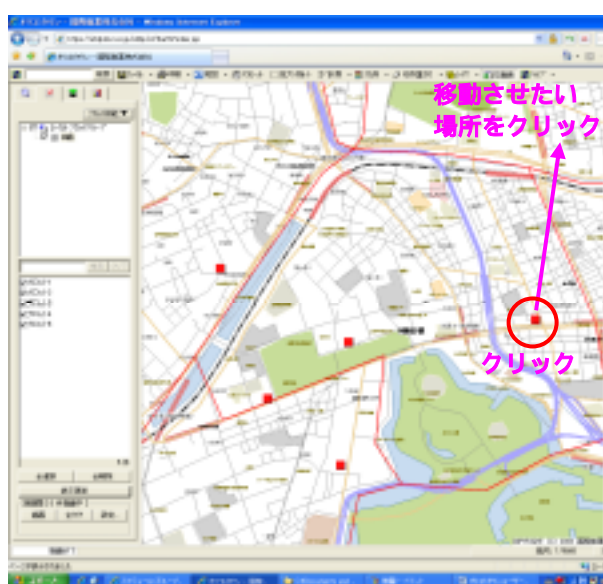
落とした店舗を削除する場合

削除したいプロット名上で右クリックし、【削除】をクリックします。



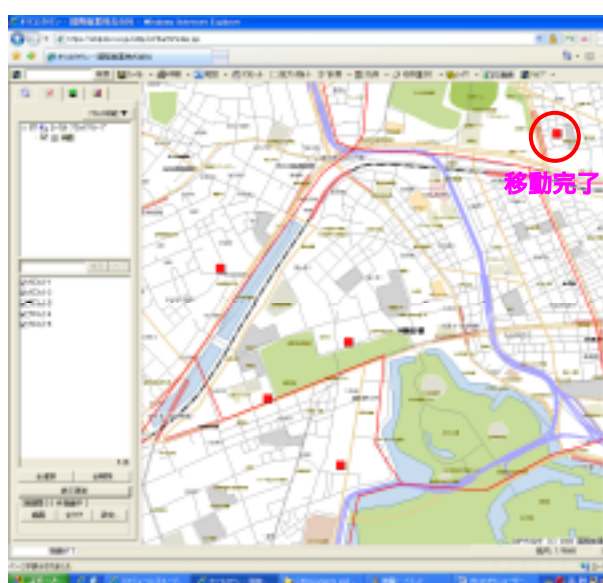
落とした店舗を移動する場合

【プロット機能】 【移動】の順にクリックします。



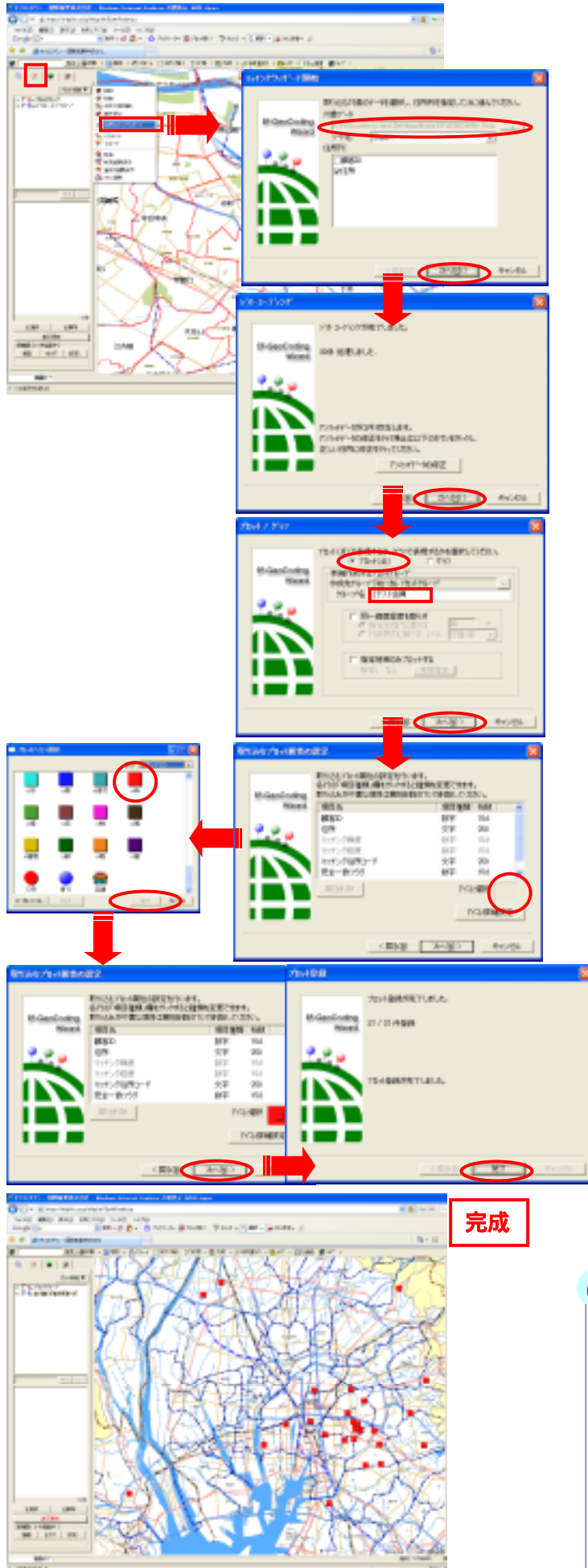
移動させたい店舗をクリックします。

店舗を移動させる場所をクリックします。




店舗が移動します。

2-2-2. 保存した顧客データを取り込む（インポート）には...



ケース プロット表示する場合

プロットアイコン  をクリックします。
【プロット機能】 **【住所マッチングウィザード】** をクリックします。

【マッチングウィザード開始】の画面が表示されます。

【対象データ】に使用する顧客リストのエクセルデータを選択し、【次へ】をクリックします。

左画面が表示されましたら、【次へ】をクリックします。

左画面が表示されましたら、【プロット】を選択し、【グループ名】を入力し、【次へ】をクリックします。

次にプロットするアイコンを選択します。
【アイコン選択】 をクリックすると、**【プロットアイコン選択】**の画面が表示されます。
 アイコンを選択し、**【選択】** をクリックします。

【アイコン選択】に選択したアイコンが表示されたことを確認し、【次へ】をクリックします。

【完了】をクリックします。

プロットが完了します。

件数により処理時間が異なります。

インポートに必要なExcel, csv ファイルの条件
 タイトルは必ず1行で入力します。
 住所は必ず入力します。

例)

Microsoft Excel - 東京都中央区本町1-1-1

住所	電話番号
東京都中央区本町1-1-1	03-1234-5678
東京都中央区本町1-1-2	03-1234-5679
東京都中央区本町1-1-3	03-1234-5680
東京都中央区本町1-1-4	03-1234-5681
東京都中央区本町1-1-5	03-1234-5682

タイトルは1行
住所は必須

ケース 町丁目別に表示する場合

例) 多い地区少ない地区を5段階の色で表示する。

プロットアイコン  をクリックします。

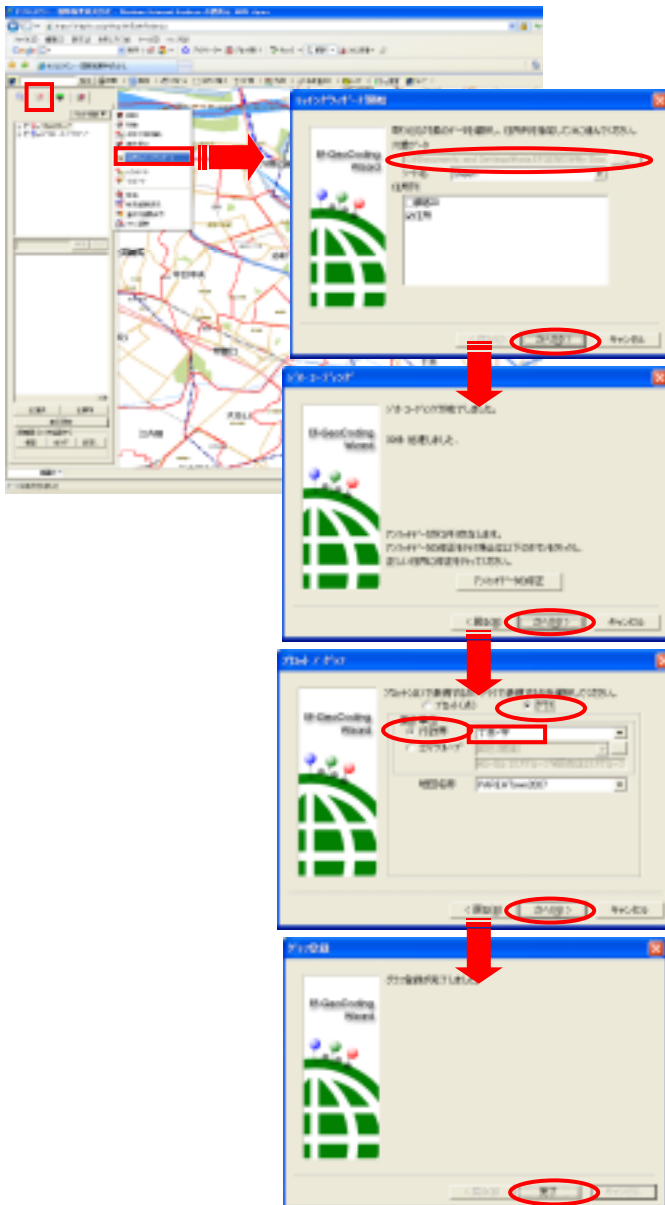
【プロット機能】 【住所マッチングウィザード】をクリックします。


【マッチングウィザード開始】の画面が表示されます。【対象データ】に使用する顧客リストのエクセルデータを選択し、【次へ】をクリックします。

左画面が表示されたら、【次へ】をクリックします。

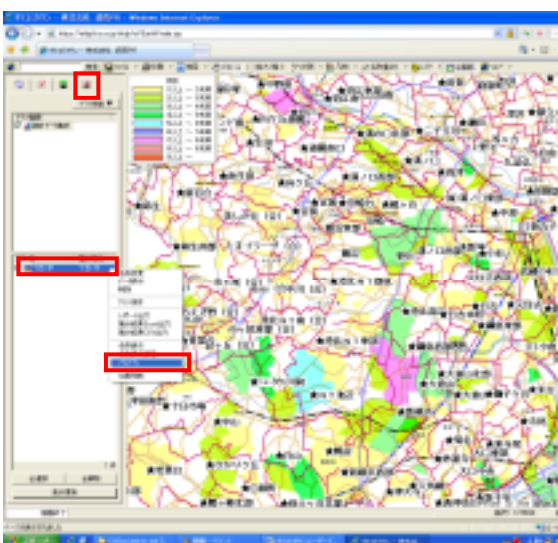
【グラフ】をクリックし、【行政区界】【丁目・字】を選択し、【次へ】をクリックします。

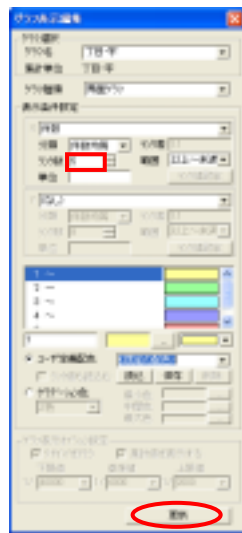
左画面が表示されたら、【完了】をクリックします。



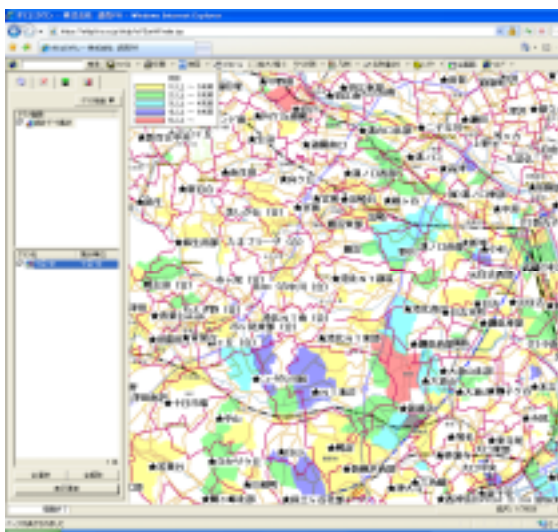
機能レイヤのグラフアイコン  をクリックします。

グラフ名を右クリックし、【プロパティ】をクリックします。





5段階の色表示をする為、【グラフ表示編集】画面の【ランク数】を5に設定し、【更新】をクリックします。



完成

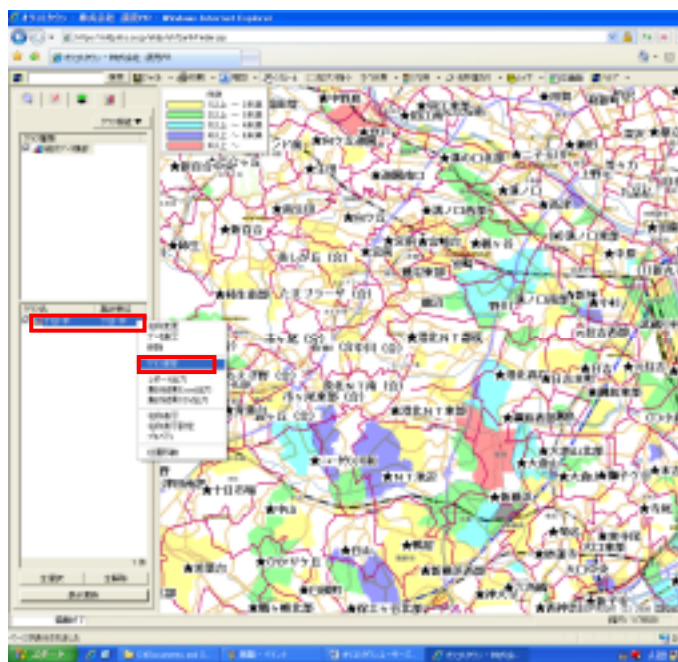
町丁目別で顧客データが地図上に表示されます。

インポートに必要なExcel, csv ファイルの条件
タイトルは必ず1行で入力します。
住所は必ず入力します。

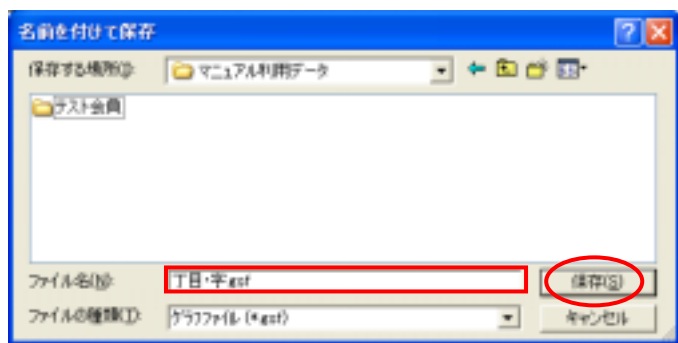
例)

店名	住所
001 東京都中央区銀座1-2-3	東京都中央区銀座1-2-3
002 東京都中央区銀座1-2-3	東京都中央区銀座1-2-3
003 東京都中央区銀座1-2-3	東京都中央区銀座1-2-3
004 東京都中央区銀座1-2-3	東京都中央区銀座1-2-3
005 東京都中央区銀座1-2-3	東京都中央区銀座1-2-3

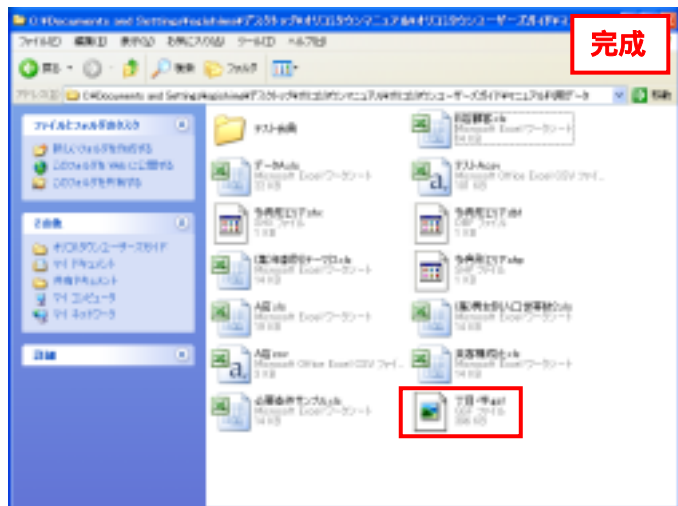
2-2-3. 来店客分布状況を集計したデータを保存するには・・・



【グラフ名】を右クリックし、【グラフ保存】をクリックします。



保存先を指定し、【ファイル名】を入力し、【保存】をクリックします。



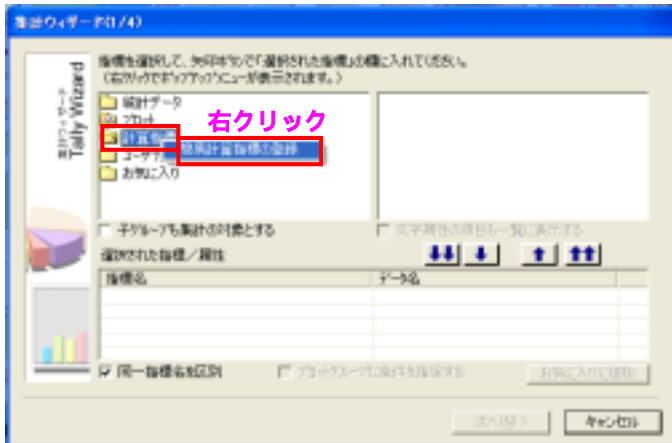
gsf 形式のファイルが保存されます。

2-2-4. 来店客の世帯シェアを集計するには・・・



グラフのアイコン  をクリックします。

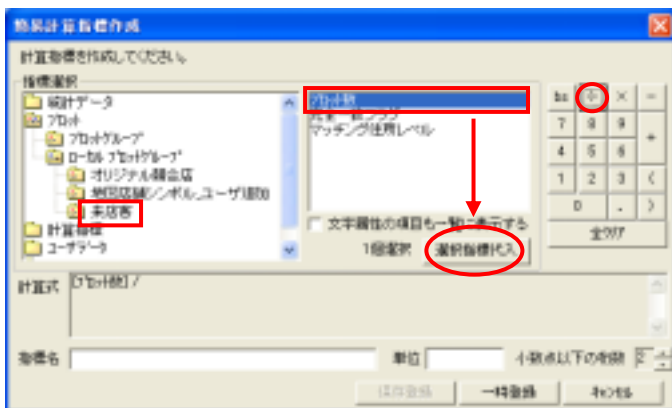
【集計ウィザード】をクリックします。



【計算指標】を右クリックし、【簡易計算指標の登録】をクリックします。

世帯シェアとは？

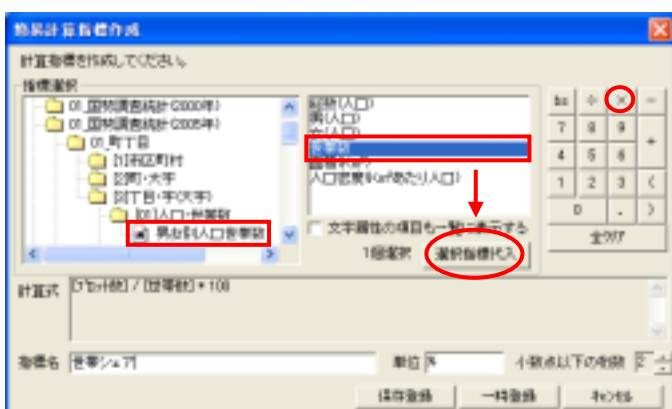
$$\text{世帯シェア (\%)} = \frac{\text{プロット数}}{\text{世帯数}} \times 100$$



【プロット】 【ローカルプロットグループ】
【来店客】をクリックすると右側に項目が表示されますので以下の順にクリックします。
【プロット数】

【選択指標代入】

【÷】



【統計データ】 【01_国勢調査統計(2005年)】

【01_町丁目】 【[3]丁目・字(大字)】

【[01]人口・世帯数】 【男女別人口世帯数】
をクリックすると右側に項目が表示されますので以下の順にクリックします。

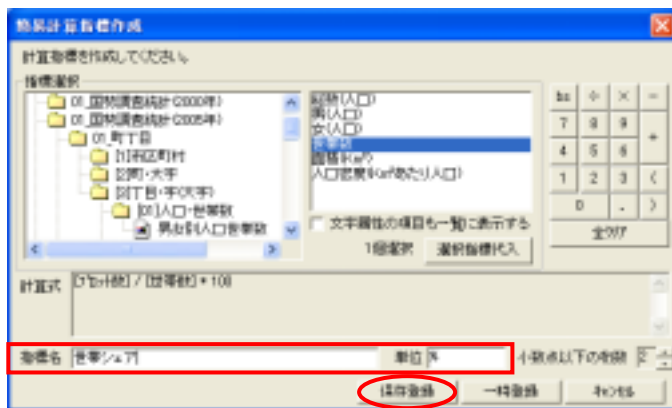
【世帯数】

【選択指標代入】

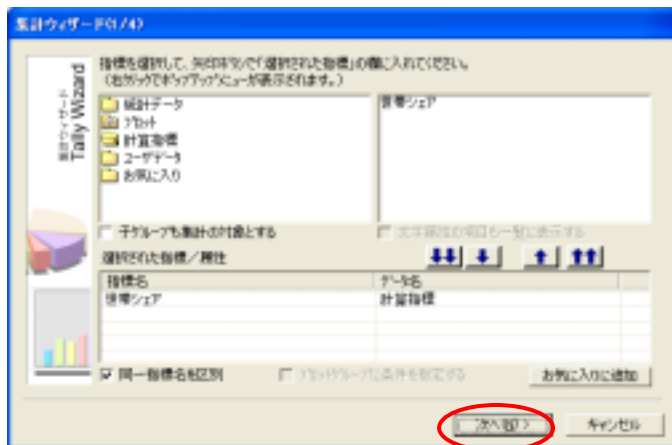
【×】

100 と入力します。

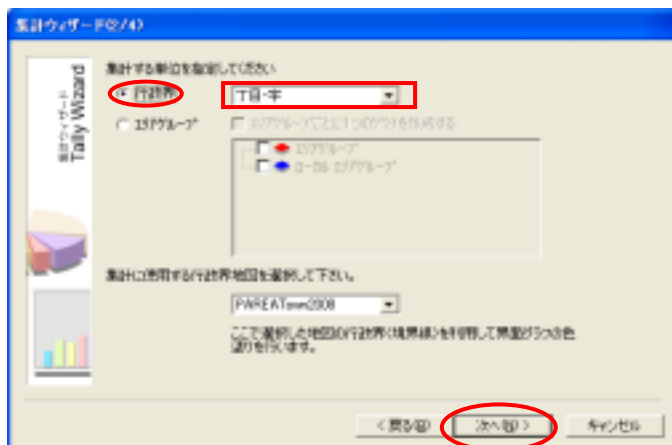
以上で計算式の入力完了です。



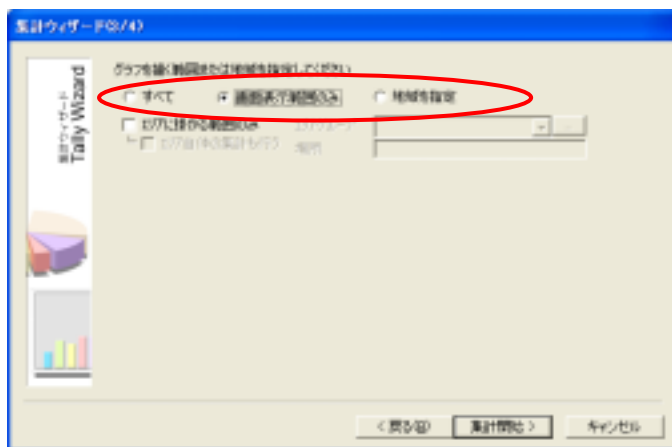
次に【指標名】と【単位】を入力し、【保存登録】をクリックします。



【次へ】をクリックします。

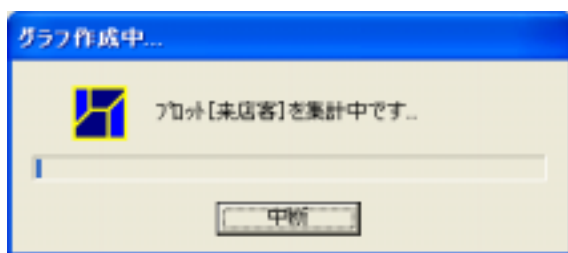


【行政界】をクリックし、【丁目・字】を選択し、【次へ】をクリックします。

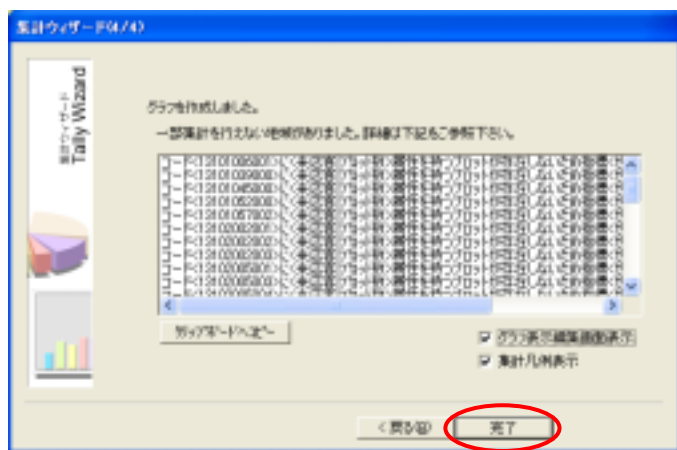


グラフを描く範囲または地域を指定し、【集計開始】をクリックします。

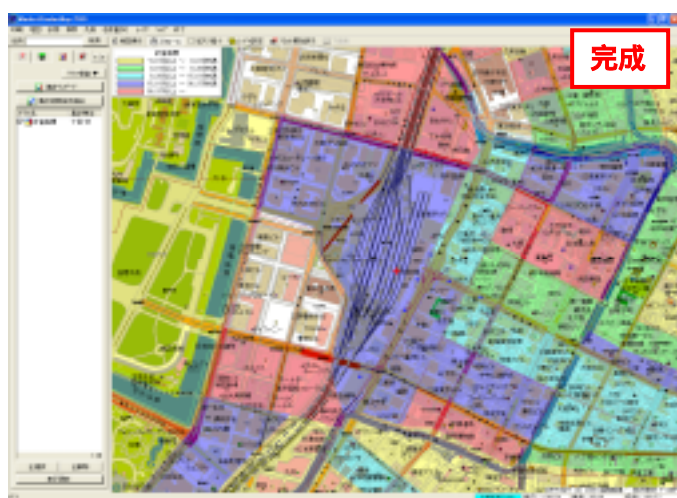
範囲を【すべて】を選択した場合、データ集計にしばらく時間がかかります。



グラフ作成中、左画面が表示されます。



【完了】をクリックします。

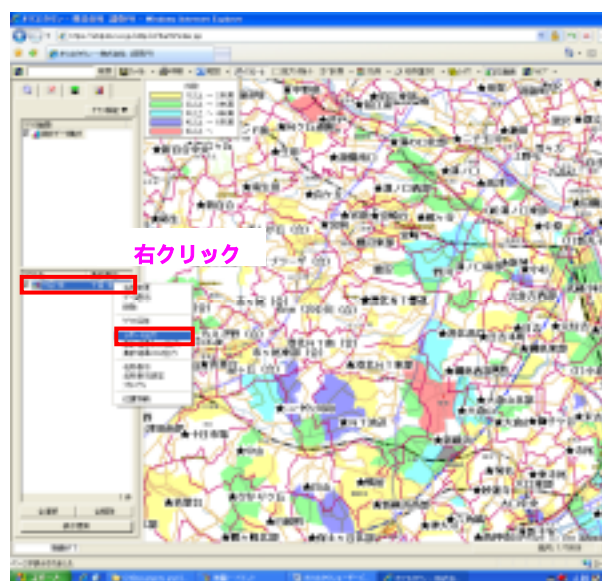


地図画面上に世帯吸引率が表示されます。

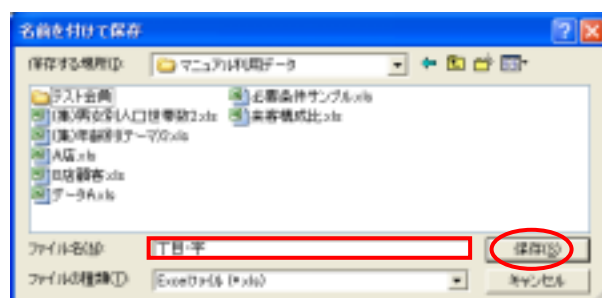
3. その他

3-1. エクセルレポート

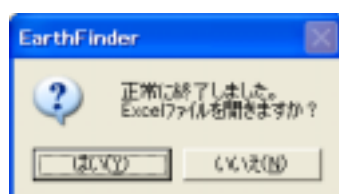
3-1-1. xls形式でレポート出力するには...



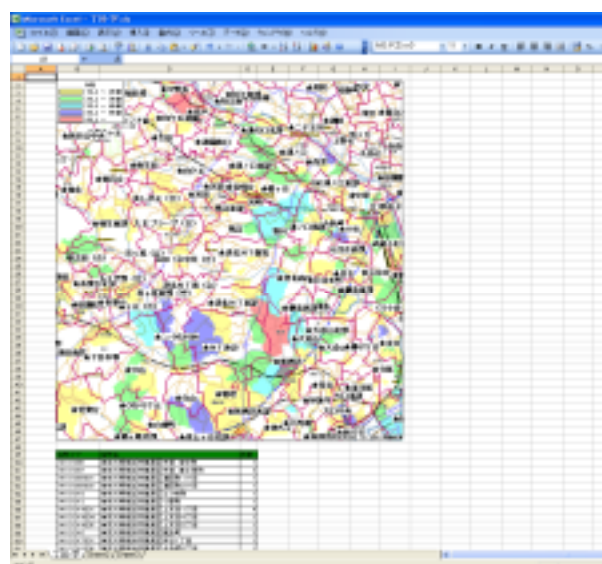
グラフ名を右クリックし、【レポート出力】をクリックします。



保存先を指定し、ファイル名を入力したら、【保存】をクリックします。



すぐに関く場合は【はい】を後で開く場合は【いいえ】をクリックします。

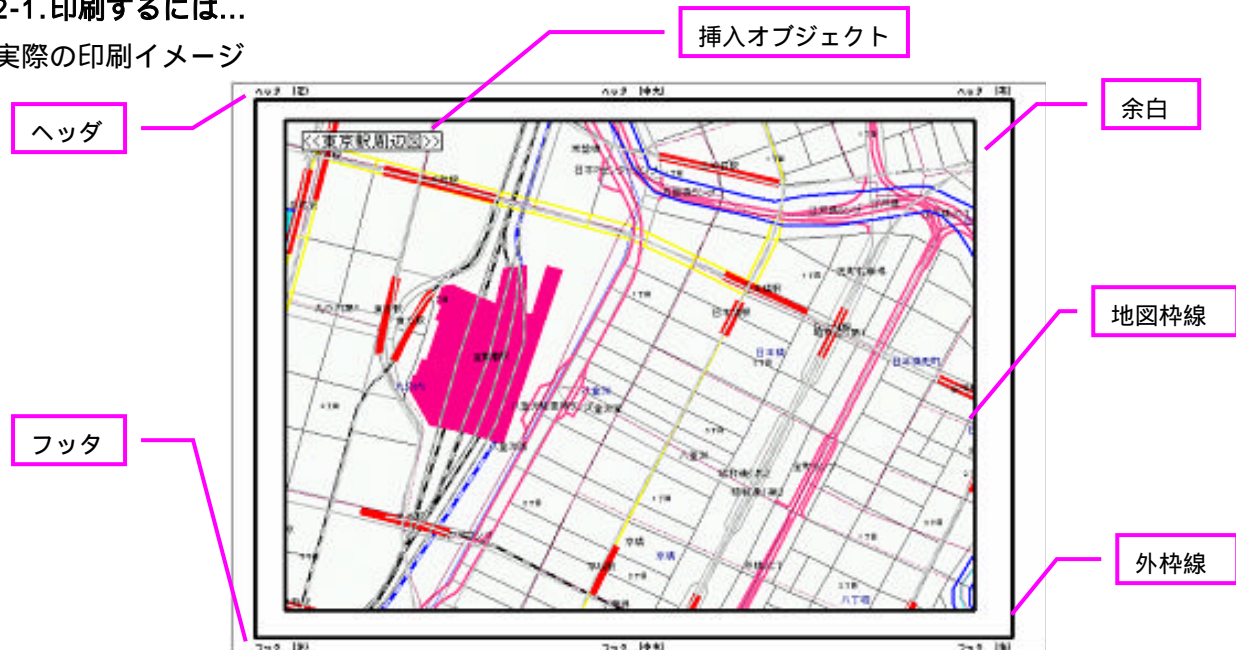


エクスポートが完了すると、Excel データで開くことができます。

3-2.印刷

3-2-1.印刷するには...

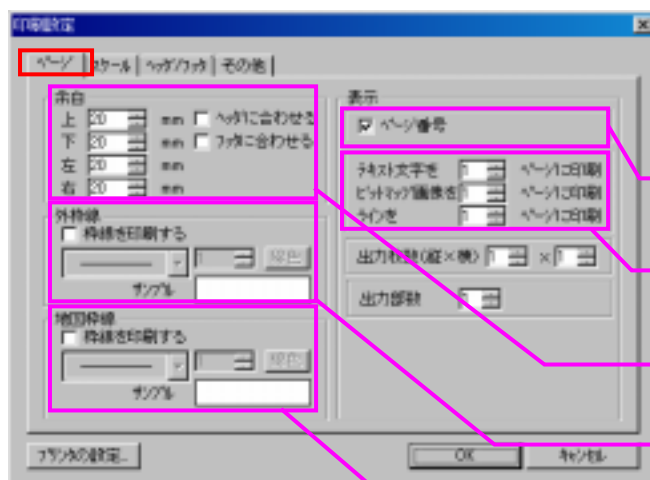
実際の印刷イメージ



印刷設定を行います。



ツールバーの【印刷】 【印刷設定】をクリックします。



【ページ】タブをクリックし、ページ設定を行います。

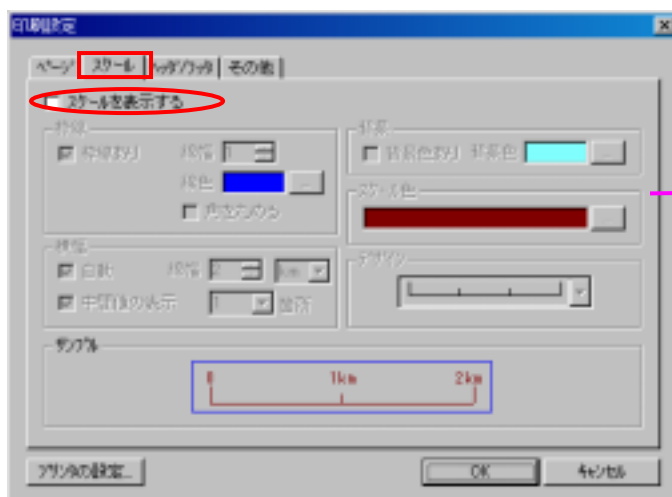
ページ番号を印刷する場合は【ページ番号】にチェックを入れます。

印刷用に作成した文字・画像・ラインの印刷ページを指定することができます。

余白を設定します。

外枠線を印刷する場合は【枠線を印刷する】にチェックを入れます。
線種、線幅、線色を選択します。

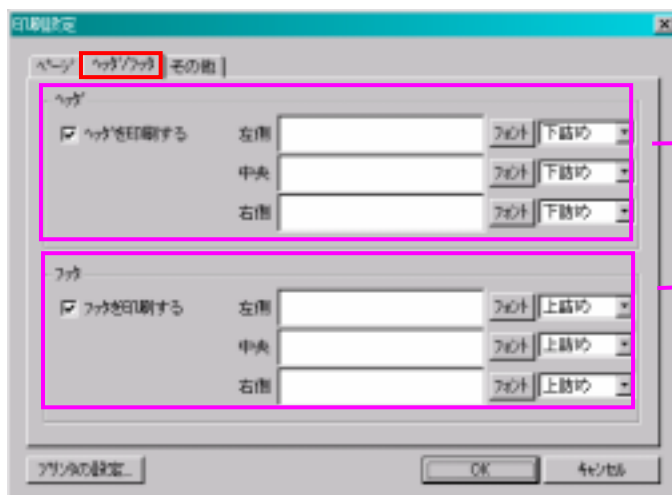
地図枠線を印刷する場合は【枠線を印刷する】にチェックを入れます。
線種、線幅、線色を選択します。



スケールを印刷したい場合は、【スケール】タブをクリックします。

スケールを表示させる場合には【スケールを表示する】にチェック入れます。

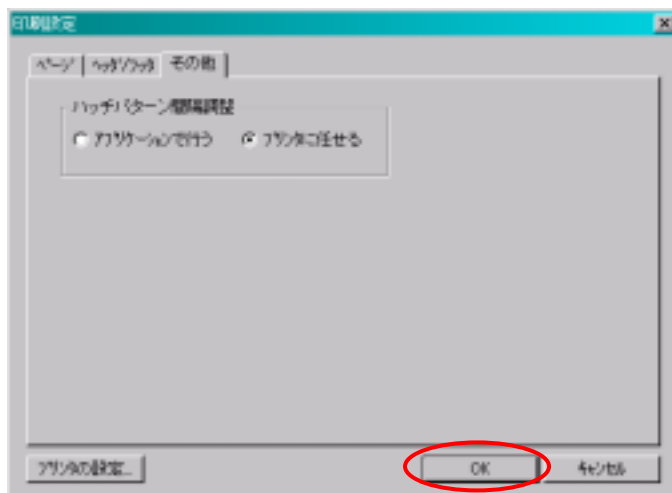
スケール表示パターンは【枠線】【横幅】【背景】【スケール色】【デザイン】にチェックを入れることで選択できます。



ヘッダ、フッタの設定をしたい場合は、【ヘッダ / フッタ】のタブをクリックします。

ヘッダを印刷する場合には【ヘッダを印刷する】にチェックを入れると、ヘッダの設定が行えるようになります。

フッタを印刷する場合には【フッタを印刷する】にチェックを入れると、フッタの設定が行えるようになります。



ハッチパターン間隔を調整したい場合は、【その他】のタブをクリックします。

プリンタによっては、画面の解像度と印刷の解像度の違いが考慮されずハッチ間隔が表示されるので、画面イメージと異なる印刷結果になることがあります。



デフォルト値は設定ファイル
(EarthFinder.ini)で設定されています。

すべての印刷設定が完了しましたら、【OK】をクリックします。

印刷範囲を設定します。



ツールバーの【印刷】 【印刷範囲】をクリックします。

左図の画面が表示されます。

印刷範囲のアイコン説明

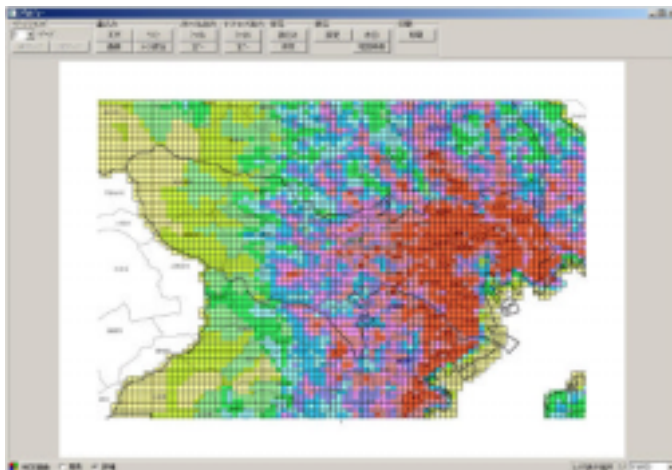
- : 地図上でマウスをドラッグして矩形上の印刷範囲を決定します
- : 地図上でクリックするとその地点を中心に印刷範囲が移動します
- : クリックすると次ページの地図を表示します
- : クリックすると前ページの地図を表示します
- : 印刷範囲を画面いっぱいに全表示します

プレビュー画面を表示します。



ツールバーの【印刷】 【プレビュー】をクリックします。

プレビュー画面が表示します。

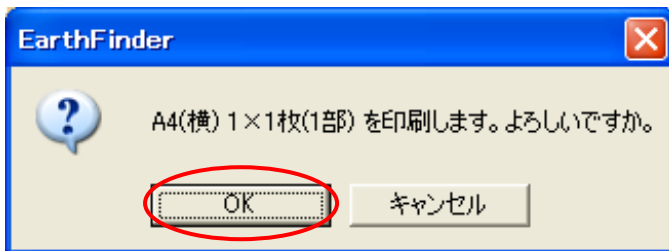


印刷範囲画面の のアイコンをクリックしてもプレビュー画面を表示できます。

印刷を実行します。




ツールバーの【印刷】 【印刷】をクリックします。



印刷確認画面が表示されます。

よろしければ【OK】をクリックすると印刷が実行されます。

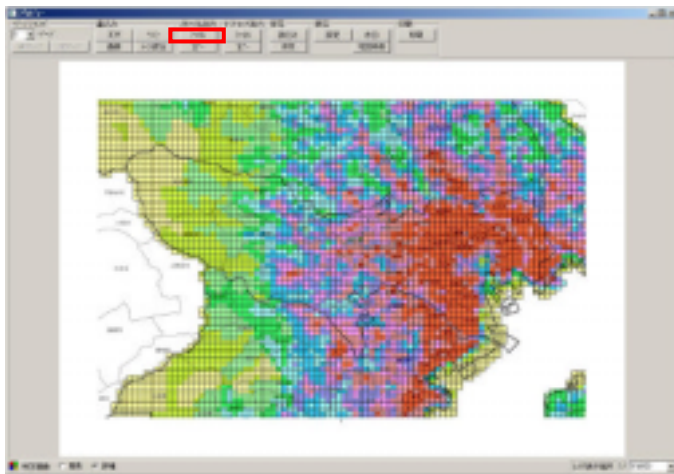
印刷範囲画面の  のアイコンをクリックしても印刷できます。

3-2-2. 地図の描画手順を保存（メタファイル出力）するには...

メタファイルとは...複数のタイプのデータを含むファイルフォーマット。画像そのものではなく、描画命令を記録する特徴があります。



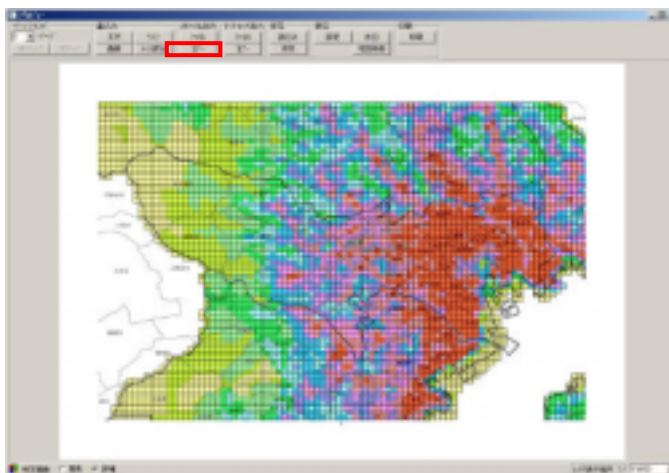
ツールバーの【印刷】 【プレビュー】をクリックします。



メタファイル出力欄の【ファイル】をクリックします。



【保存する場所】を指定し、【ファイル名】を入力して、【保存】をクリックします。



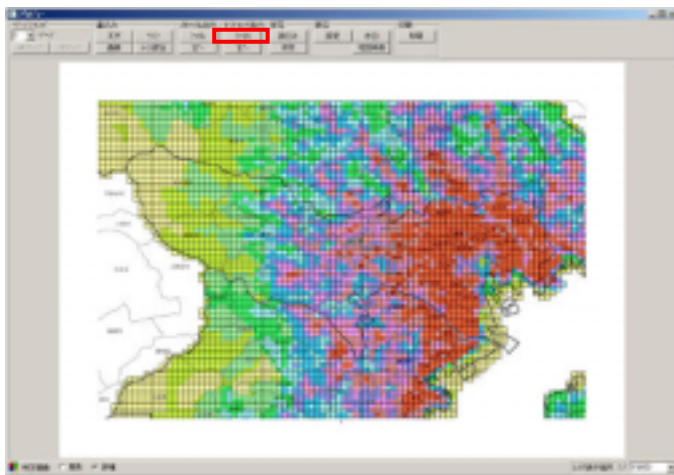
【コピー】をクリックすると画像がクリップボードに格納されます。

3-2-3. 画像ファイルで保存（ビットマップ出力）をするには...

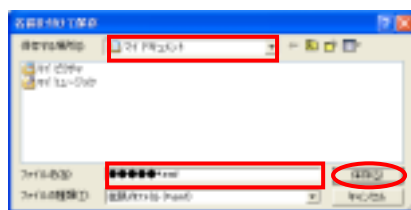
ビットマップとは...画像を格子状に多くの細密な点（ピクセル pixel）に分割し、その点の色や濃度を RGB 等の表色系を用いて数値として表現するラスタ形式によってコンピュータのデータとして扱うラスターグラフィックスを意味します。



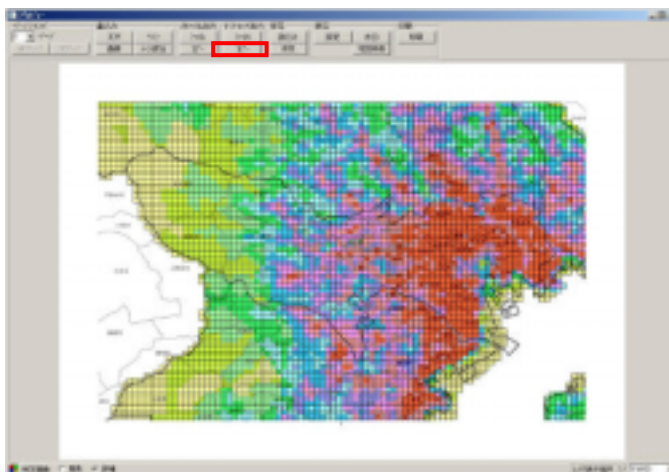
ツールバーの【印刷】 【プレビュー】をクリックします。



ビットマップ出力欄の【ファイル】をクリックします。



【保存する場所】を指定し、【ファイル名】を入力して、【保存】をクリックします。



【コピー】をクリックすると画像がクリップボードに格納されます。

【用語説明】

- エクスポート : 他のアプリケーションソフトが解釈できる形式でファイルを保存する機能。
- インポート : 他のアプリケーションソフトで作成したファイルを読み込み、データを変換して利用できるようにすること。
- ポリゴン : 3次元コンピュータグラフィックスで立体の形状を表現するときに使用する多角形。
- プロット : 書く、描画する、点を打つ、などの意味。
- レイヤ : 層(layer)のこと。また階層構造。画像処理ソフトなどに搭載されている、画像をセルのように使うことができる機能。
- ハッチパターン : エリアなどの網掛け模様の種類です。
- 面積按分 : 例えば 100 人が住む行政界に対してエリアが 50%かかっている場合、集計時にその行政界から 50 人を抜き出す事を面積按分といいます。
- ビットマップ : 画像を格子状に多くの細密な点 (ピクセル pixel) に分割し、その点の色や濃度を RGB 等の表色系を用いて数値として表現するラスタ形式によってコンピュータのデータとして扱うラスターグラフィックスを意味します。
- メタファイル : 複数のタイプのデータを含むファイルフォーマット。画像そのものではなく、描画命令を記録する特徴があります。
- Excel 形式 : Excel だけで読み込む事ができる形式です。
- c s v 形式 : カンマ区切りのテキストファイルです。
Excel の他、テキストエディタなどでも開く事が可能です。
- ラスタ形式 : ビットマップなどの画像形式の事をいいます。
- シェープ形式 : ESRI 社が提唱する GIS の標準フォーマット。
他の GIS などでも読み込む事が可能です。